

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
 パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校
 天津大学建築学院

2025 年度国際建築・都市設計ワークショップ “What if the Bièvre river were to flow once more through the heart of Paris”



大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースは、2025 年 9 月 15 日（月）から 19 日（金）までの 5 日間、フランスのパリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校（ENSAPVS）を主会場として、ENSAPVS と合同で国際学生建築・都市設計ワークショップを開催しました。「What if the Bièvre river were to flow once more through the heart of Paris」という今回の課題に、ENSAPVS の留学生 22 名と天津大学の学生 4 名、そして本学の建築学コース博士前期課程 1 年の後藤和也君、佐藤舞千代さん、山本蒼太君、渡辺早紀さんの 4 名が参加し、4 つの混成チームに分かれて本課題に取り組みました。ENSAPVS 参加学生 22 名は、スペイン、モロッコ、ドイツ、ポーランド、メキシコ、ブラジル、スイス、アメリカ、イタリア、オーストリアと多岐にわたる国籍を有しており、これまでにない国際性豊かなワークショップとなりました。本 WS の指導は ENSAPVS の Boris Weliachew 教授、天津大学の鄭穎副教授と本学の小松尚教授、項一朗助教が行いました。

本ワークショップは、2009 年度に ENSAPVS、2015 年度に天津大学と締結した学術交流協定を基盤として、本学建築学コースおよび両校の修士課程相当の学生を対象に実施しているものです。文化的背景の異なる学生が英語を共通言語として協働し、建築・都市デザインの提案をまとめる機会として 2009 年より開催しており、本年で通算 27 回となりました。

ビエヴル川（Bièvre river）は、セヌ川（Seine River）の支流であり、南の郊外からパリの 13 区と 5 区を流れ、最後はセヌ川に注いでいました。昔は多くのパリの市民に恵まれていた川でしたが、17 世紀末から工業廃棄物によって汚染されたため、パリの地下に埋められ、また都市インフラに取って代わられました。今回は、パリ市も取り組むこのビエヴル川の再生計画を課題とし、都市の中でビエヴル川の流路を巡ってパリ市民に緑と自然を感じさせる空間の新しい提案が求められました。

WS は初日の午前に Boris Weliachew 教授が本課題の説明を行い、ビエヴル川の歴史と都市問題を学生に提示しました。午後、ビエヴル川の旧流域を中心とし、街並みの現地調査を行いました。その後、各チームの学生たちは、各自の敷地に対して議論を交わしました。2 日目の午後には、ENSAPVS の建築材料展示室や、旧倉庫建築、荷物運送機械、図書館を見学しました。3 日目の夕方には、中間発表会を行い、各チームの敷地分析結果及び設計コンセプトの提案の方向性を確認しました。4 日目から、具体的な提案の表現、図面、模型の制作に集中していきました。

5 日目の夕方には、成果発表会を行いました。発表には、担当教員だけでなく、ENSAPVS の Patrice CECCARINI 教授、Jérémie BEDEL 教授も出席しました。各チームが分析結果と提案内容を図面（A0 判 2 枚）と模型で発表し、講評では、4 つのチームからの提案に対して、ビエヴル川の再生によって、現代都市において関わってきた自然空間、親水空間、歴史的記憶が、いかに創造的な方法で実現されるかを考察しました。さらに、先生方が各グループに対して、個別のフィードバックを行い、活発な議論が交わされ、会場は大いに盛り上がりました。5 日間という短期間の中で、各チームはビエヴル川の再生計画に取り組み、それぞれが独自のコンセプトを掲げ、川の有機的な形態や自然環境を都市空間に取り込む提案を行いました。

なお、本ワークショップに参加する院生の派遣は、独立行政法人日本学生支援機構の令和 7 年度海外留学支援制度（協定派遣）採択プログラムとして実施し、教員の派遣等は環境学研究科研究科長裁量経費の支援を受けて実施しました。

交流実績

2009 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2009
(会場: 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 40 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>>

2009 年 9 月 : Japan Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine
(会場: パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>>

2009 年 9 月 : 名古屋大学大学院環境学研究科とパリヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の
間で学術交流協定及び覚書を締結
報告記事 < <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>>

2010 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2010
(会場: 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12 名、GSES-NU 大学院生 36 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>>

2010 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2010-2
(会場: パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>>

2011 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2011
(会場: パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、米国カンザス大学大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012 年 4 月 : 国際建築都市設計ワークショップ 2012
(会場: 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9 名、テルアビブ大学学生 9 名、GSES-NU 大学院生 27 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2012
(会場: パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20120924/index.html>>

2013 年 4-5 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013
(会場: 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 17 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

2013 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2013
(会場: パリ、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130916/index.html>>

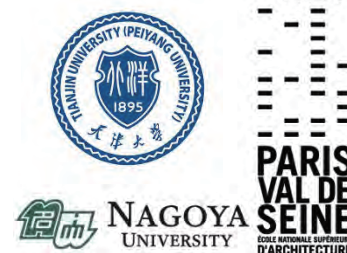
2014 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2014
(会場: 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 21 名、天津大学 1 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

2014 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2014
(会場: パリ、ENSA-PVS 大学院生 26 名、GSES-NU 大学院生 7 名、天津大学 4 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140922/index.html>

2015 年 5 月 : GSES-NU/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2015
(会場: 名古屋、GSES-NU 大学院生 17 名、天津大学 8 名が参加)
報告記事 < <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150525/index.html>>

2015 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2015
(会場: パリ、ENSA-PVS 大学院生 約 60 名、GSES-NU 大学院生 6 名、天津大学 2 名が参加)
報告記事 < <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150914/index.html>>

2016 年 2 月 : 名古屋大学大学院環境学研究科と天津大学建築学院の間で学術交流協定及び覚書を締結



2016 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2016
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 18 名、天津大学 14 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20160425/index.html>>

2017 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2017
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 22 名、天津大学 14 名が参加)
報告記事 < <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20170417/index.html>>

2017 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2017
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 約 60 名、GSES-NU 大学院生 6 名、天津大学 7 名が参加)
報告記事 < <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20170918/index.html>>

2018 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2018
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 17 名、GSES-NU 大学院生 24 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 < <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20180423/index.html>>

2018 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築・都市設計ワークショップ 2019
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 80 名、GSES-NU 大学院生 7 名、天津大学 11 名が参加)
報告記事 <<https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20180917/index.html>>

2019 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2019
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 14 名、GSES-NU 大学院生 20 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 <<https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20190422/index.html>>

2019 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2019
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 80 名、GSES-NU 大学院生 11 名、天津大学 5 名が参加)
報告記事 <<https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20190916/index.html>>

2021 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/TIANJIN Univ. 合同建築・都市設計ワークショップ 2021
(会場 : オンライン、ENSA-PVS 大学院生 19 名、GSES-NU 大学院生 18 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 <<https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20210417/index.html>>

2022 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2022
(会場 : オンライン、GSES-NU 大学院生 18 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 <<https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20220423/index.html>>

2023 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2023
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 15 名が参加)
報告記事 <<https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20230424/index.html>>

2023 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2023
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.jp/news/20230925/index.html>>

2024 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2024
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.jp/topics/20240923/index.html>>

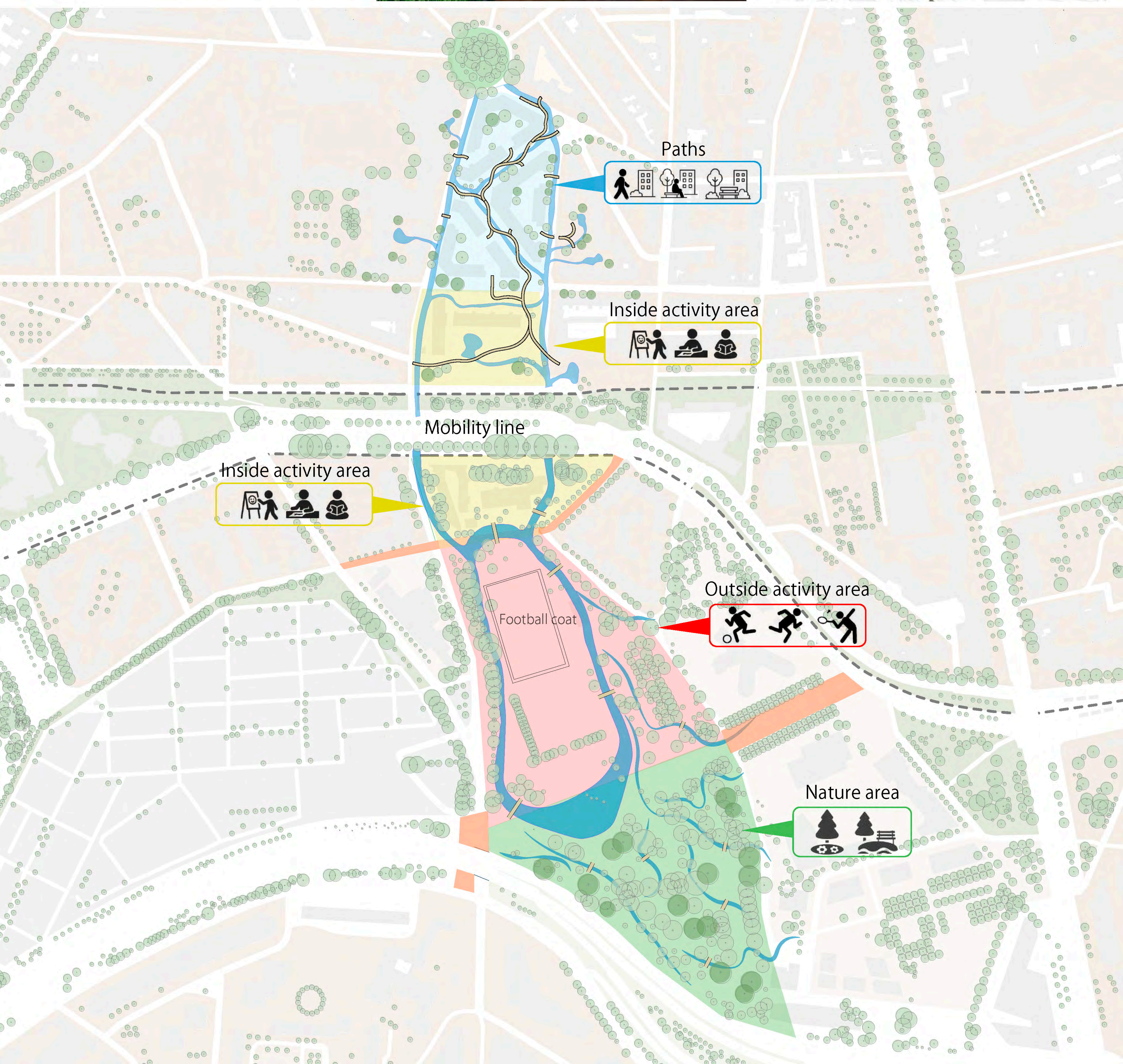
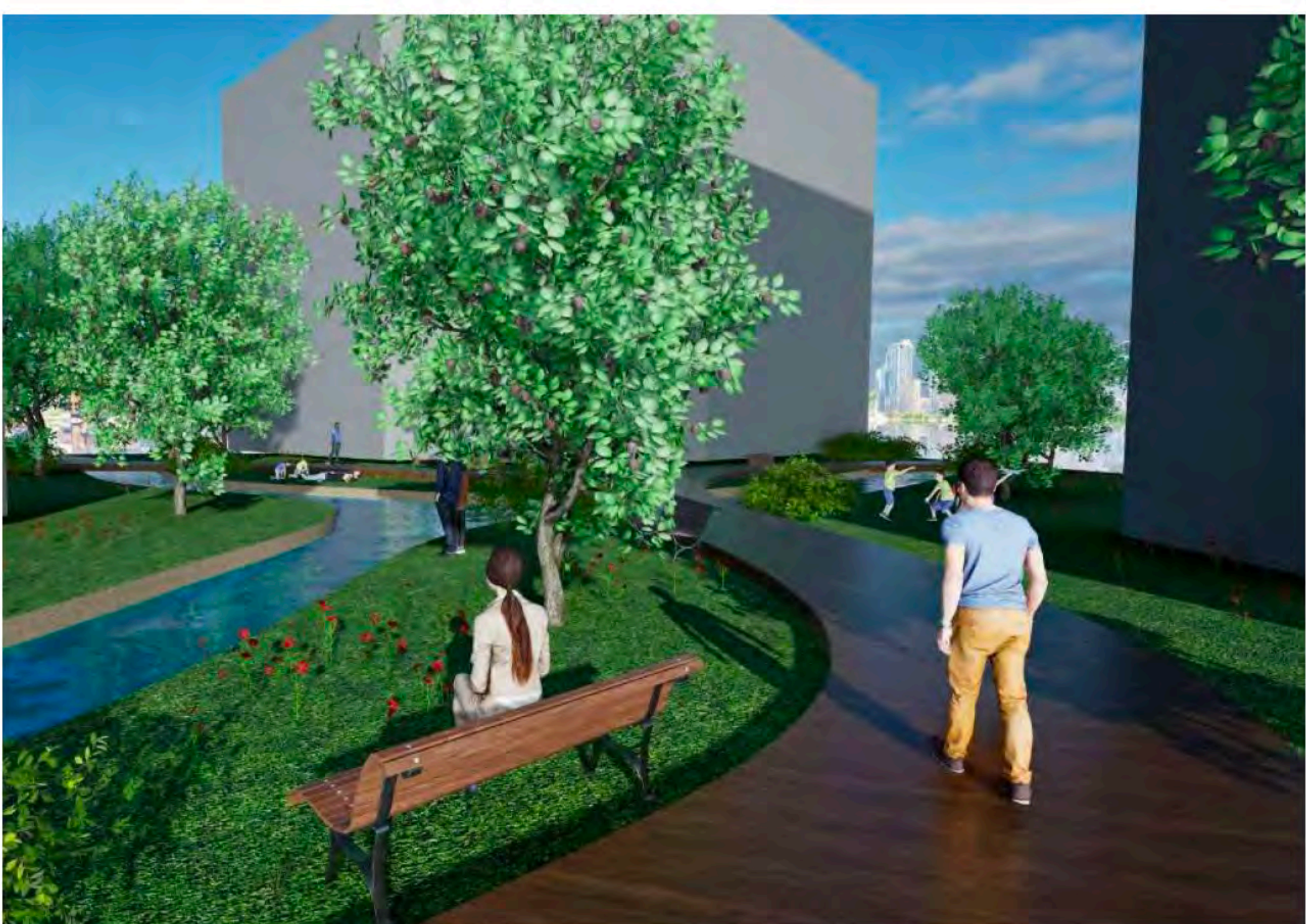
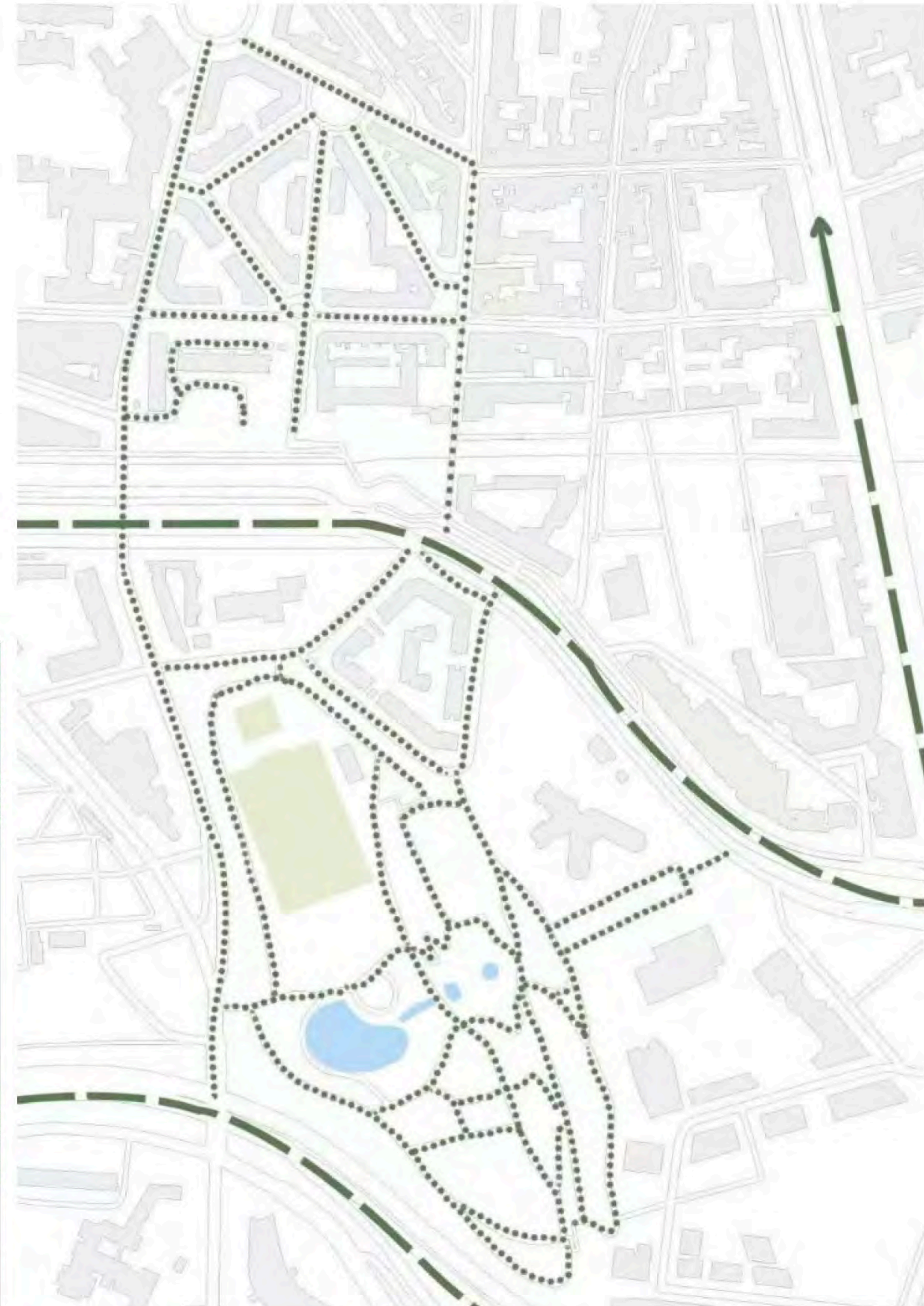
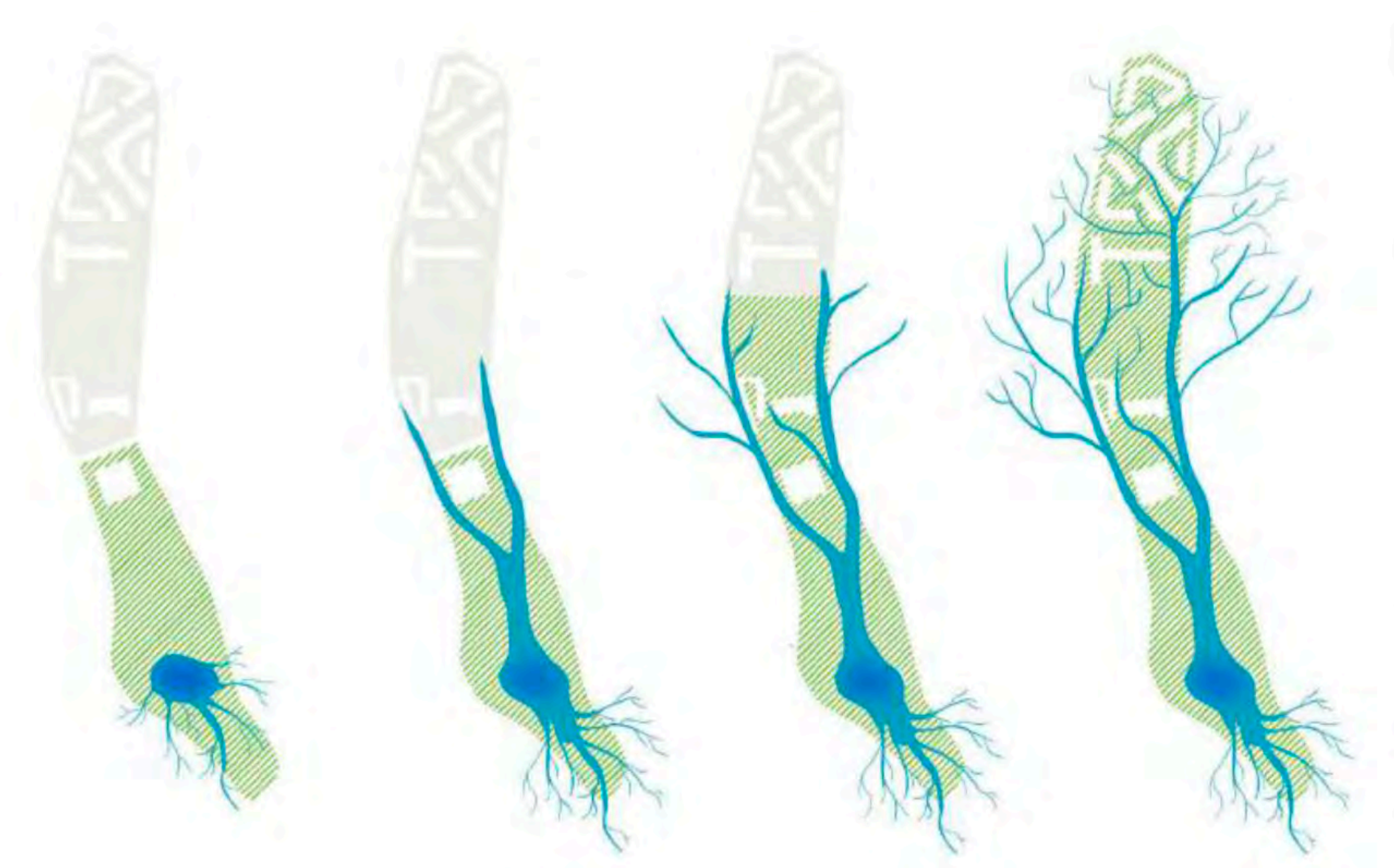
2025 年 4 月 : GSES-NU/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2025
(会場 : 名古屋、天津大学 15 名、GSES-NU 大学院生 10 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.jp/topics/20250425/index.html>>

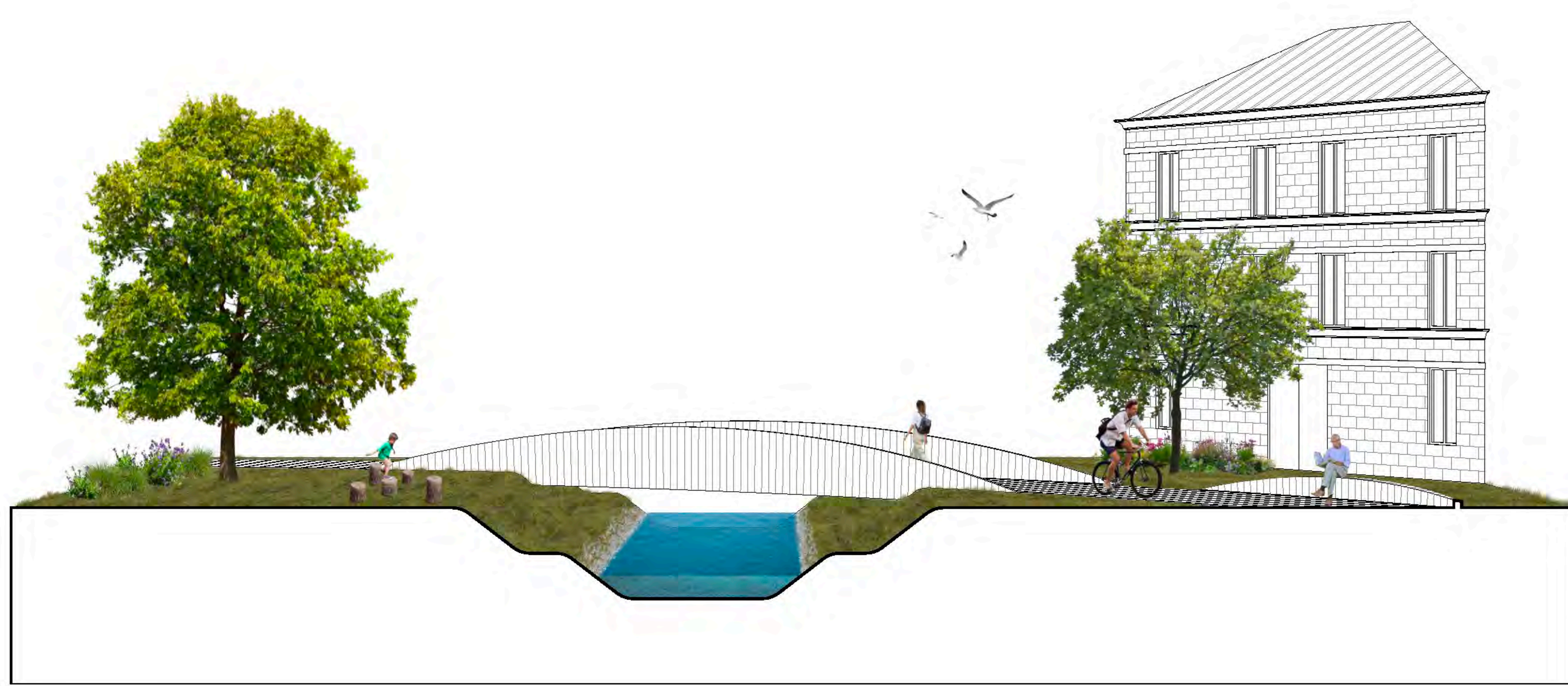
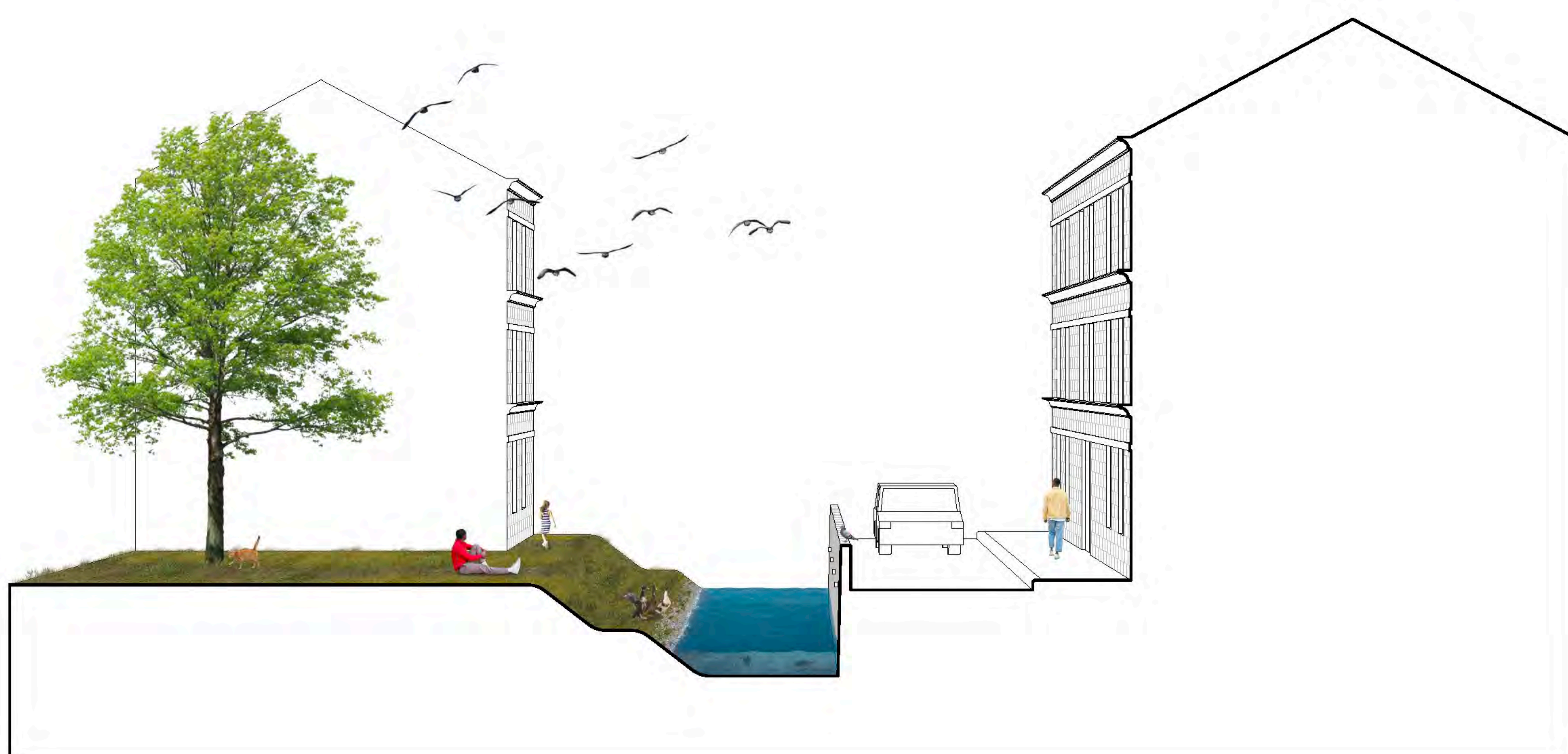
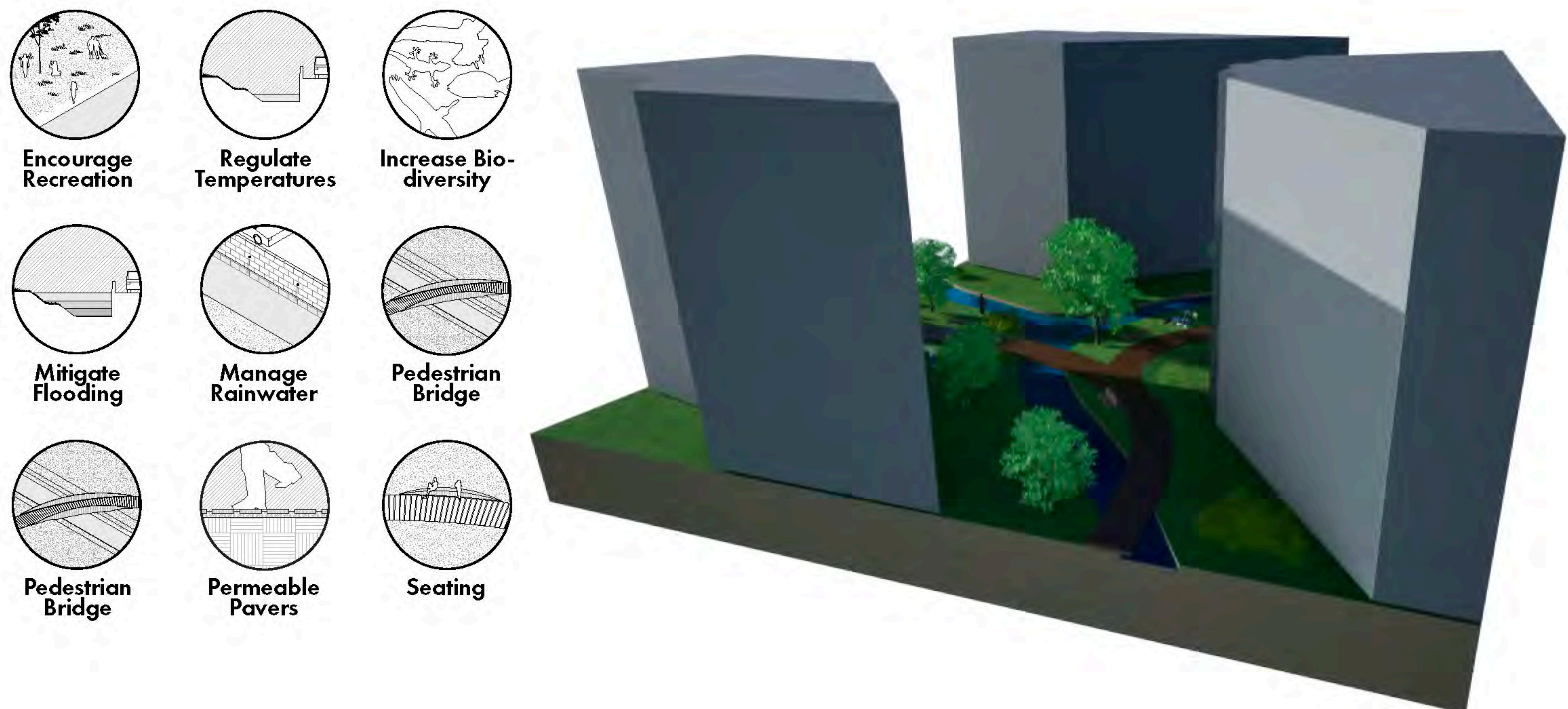
2025 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2025
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 22 名、GSES-NU 大学院生 4 名、天津大学 4 名が参加)
報告記事 <<https://www.env.nagoya-u.ac.jp/topics/20250915/index.html>>

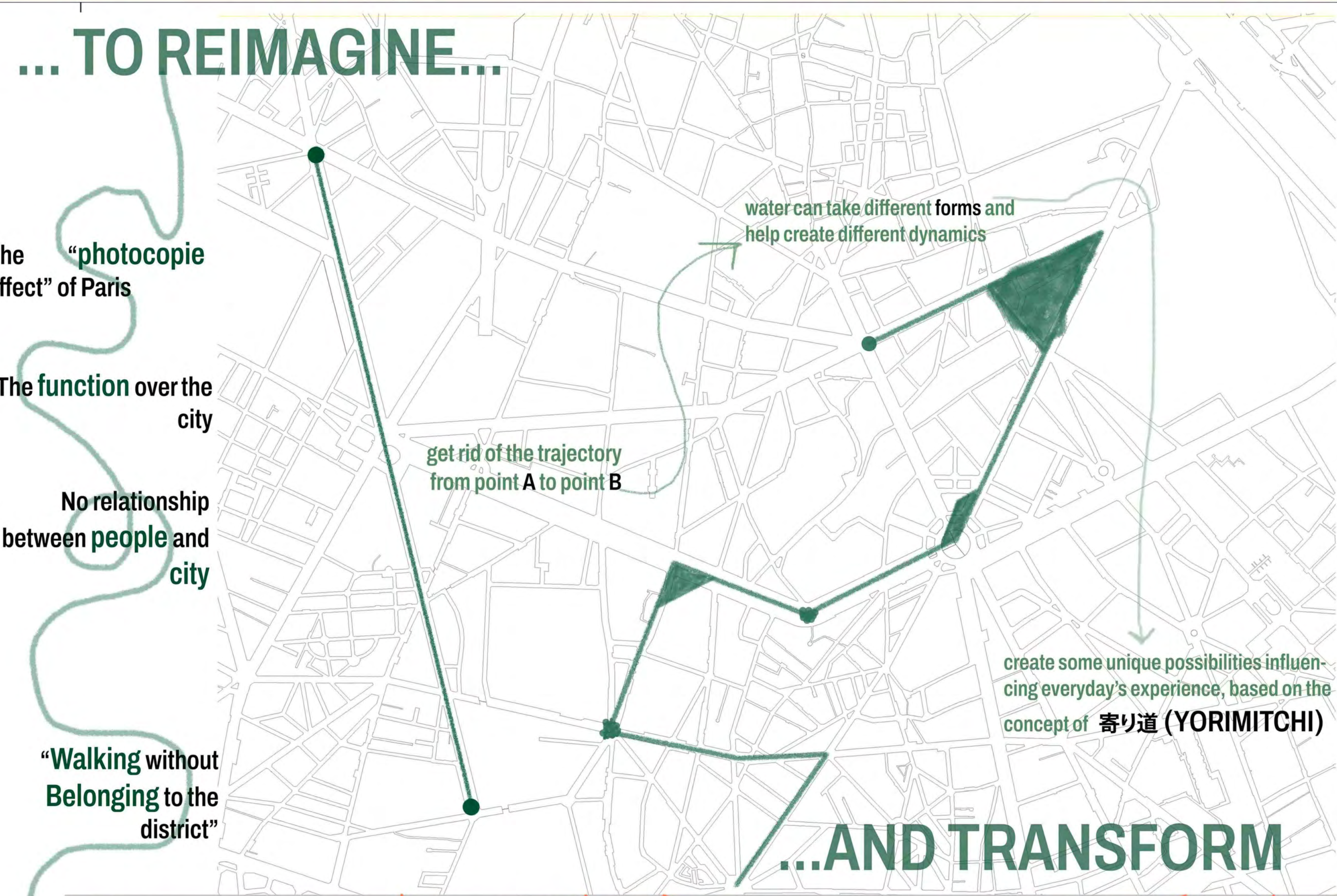
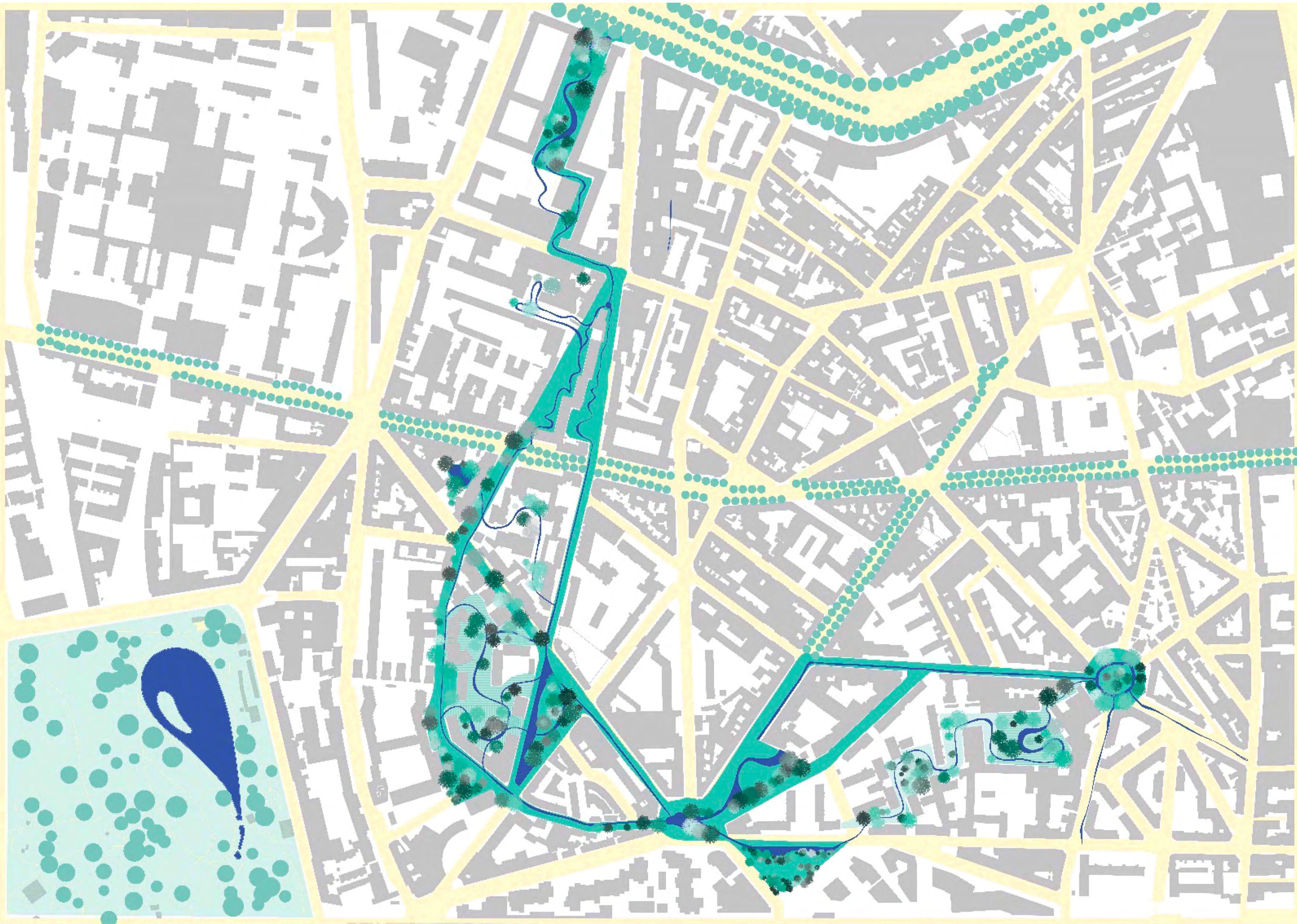
*2011 年 4 月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。

Bièvre River Restoration

Kazuya Goto, Li Jiaxun, Ilyass El Idrissi, Hafsa Henider, & Aidan Hall

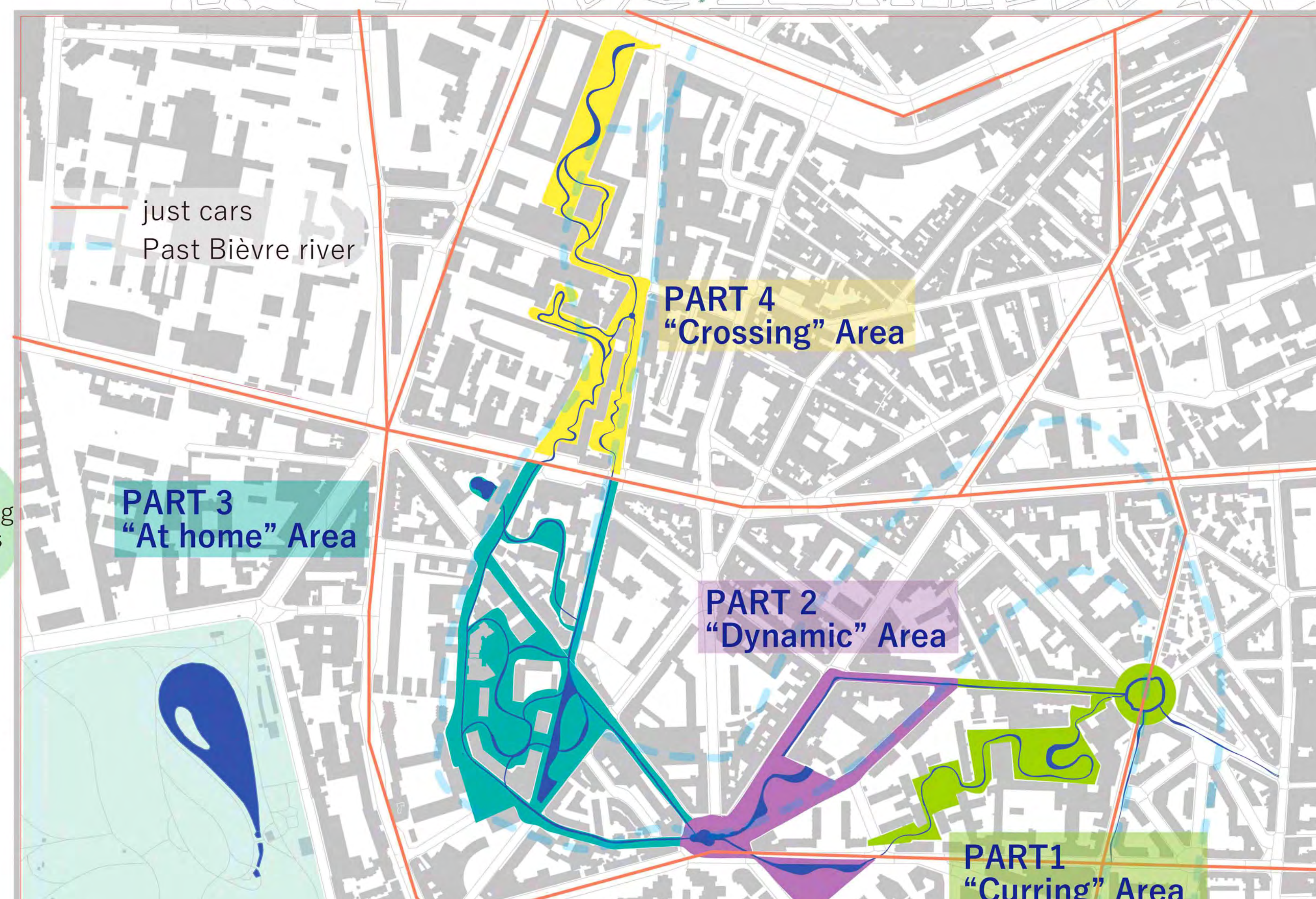
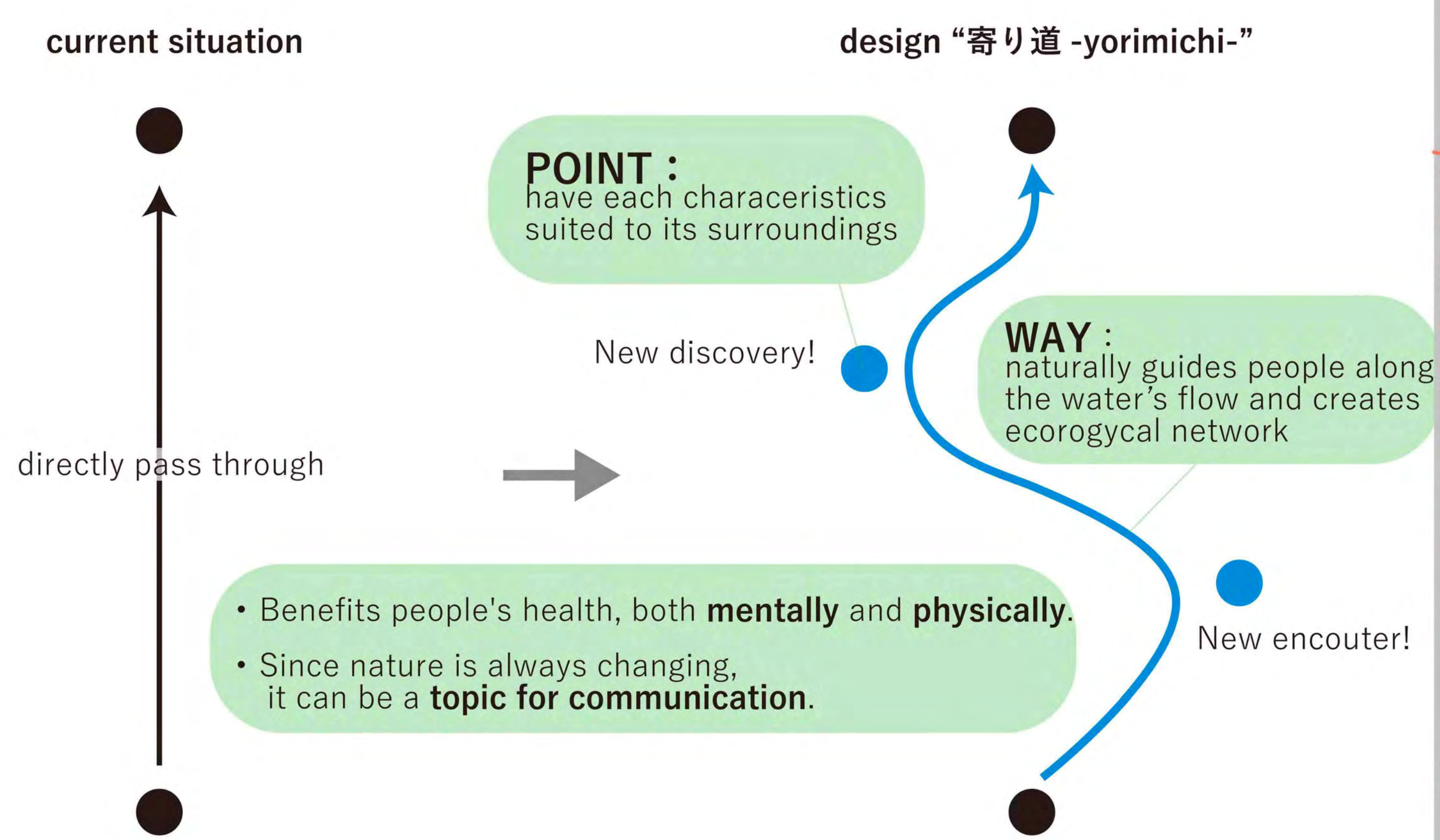






寄り道 -Yorimichi- (exciting detour)

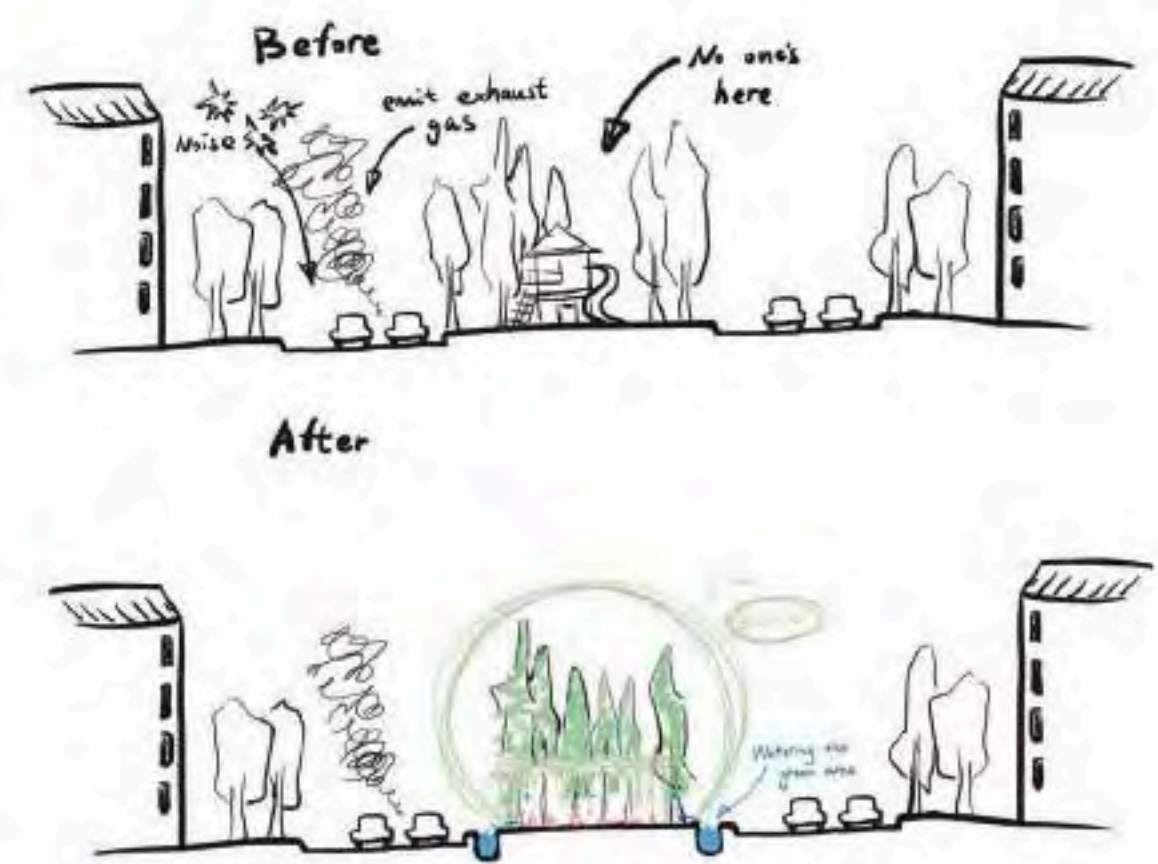
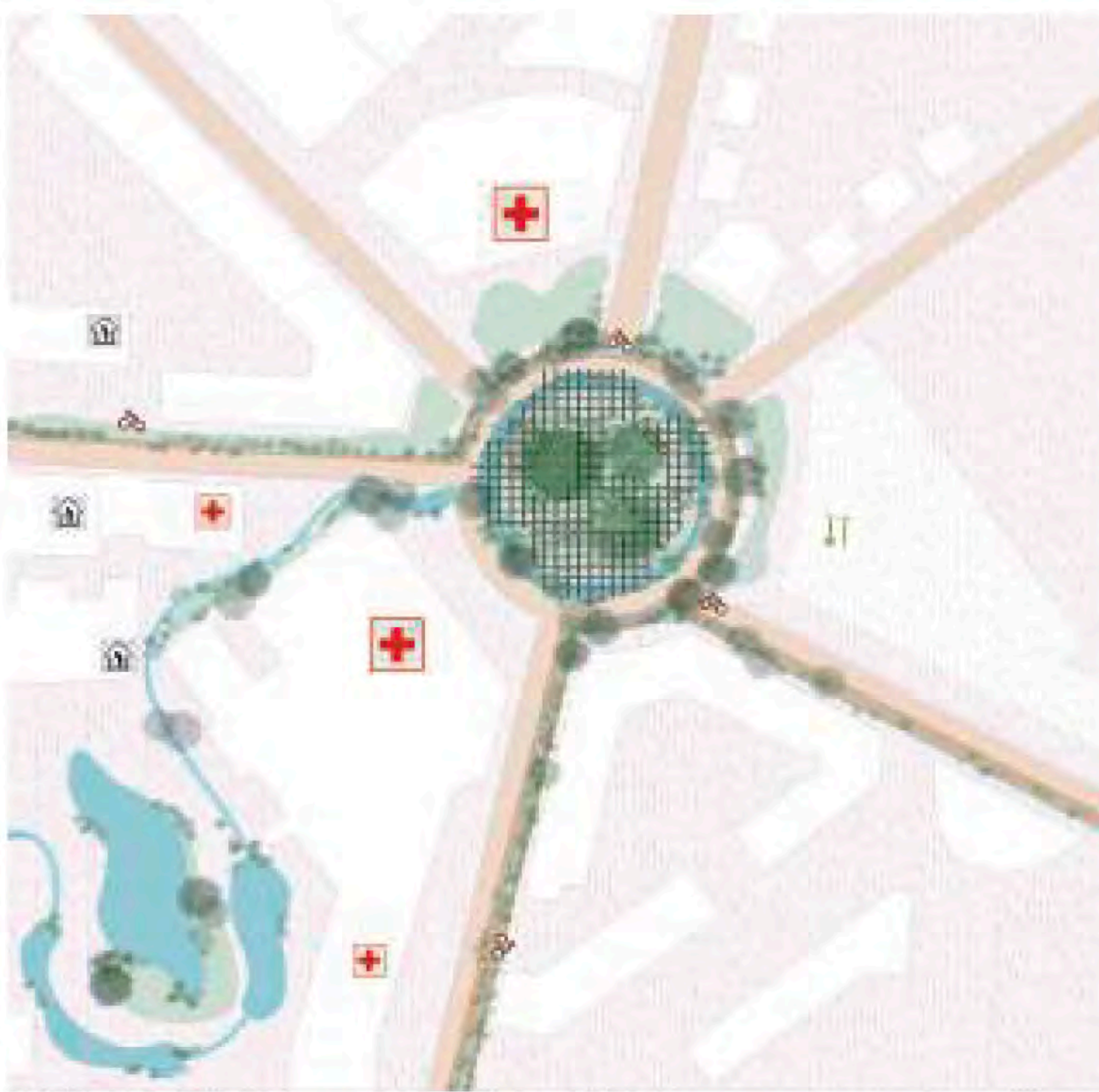
About leaving your direct path to make new discoveries and enjoy unexpected moment



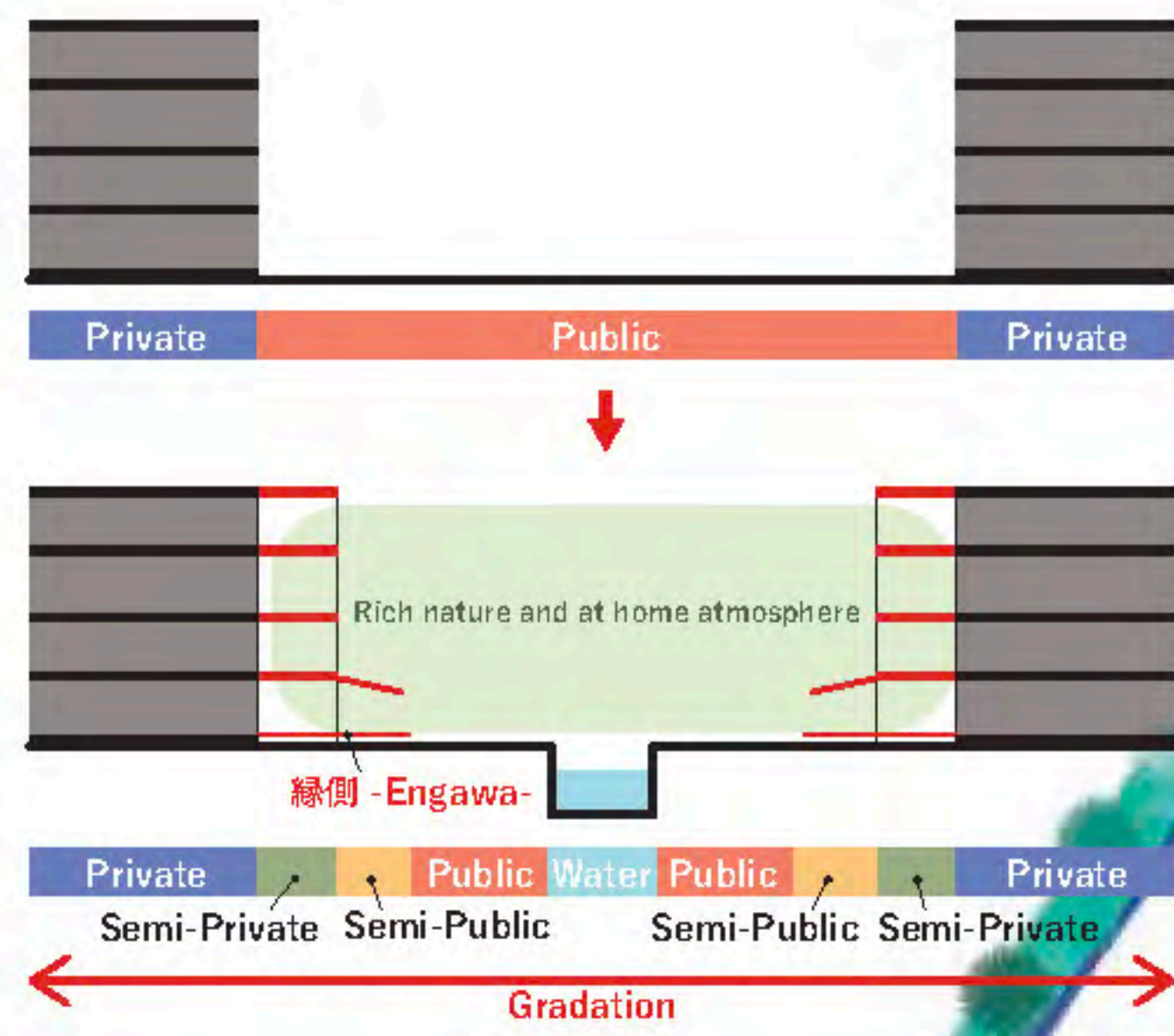
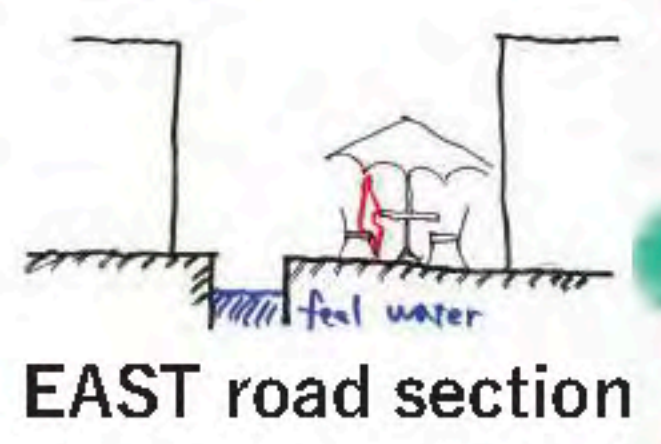
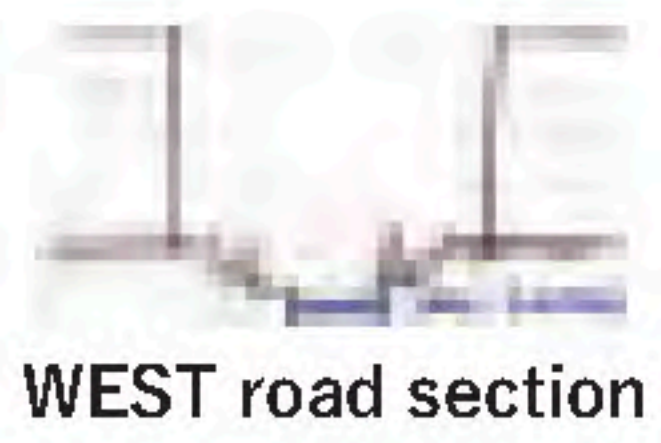
寄り道

PART 4 "Crossing" Area

Sato Machiyo
Fu Rao
Virginia Bartoli
Benno Scheffler
Oula Ghailane Omari
Joanna Szczepanska



PART1 "Curring" Area



PART 3 "At home" Area



Site Plan S-1/500

LEGEND

- Trees
- Market area
- Green areas
- Water
- Buildings
- Sporting fields
- Bike lane



music and event scene

sports field

PART 2 "Dynamic" Area

Let the Bièvre Flow

France-Japan-China Workshop
taught by Yilang Xiang, Ying Zheng, Hisashi Komatsu, Boris Weliachew

Project by Manal El Assad, Saki Watanabe, Elena Meister, Wanting Xia,
Romain Billard, Joaquín Góngora Rodríguez, Soïc Kermarrec

The Bièvre

In the 5th and 13th arrondissements of Paris, the forgotten river Bièvre lies hidden beneath the city, most visibly beneath the park Square René Le Gall. This project seeks to reopen the Bièvre and let it flow freely once again, weaving nature back into the urban fabric. By reconnecting the city with its river, we create spaces where water, greenery, and people coexist — bringing life, resilience, and balance back to the heart of Paris.

Analysis of Issues

The urban landscape around the Bièvre faces several challenges:

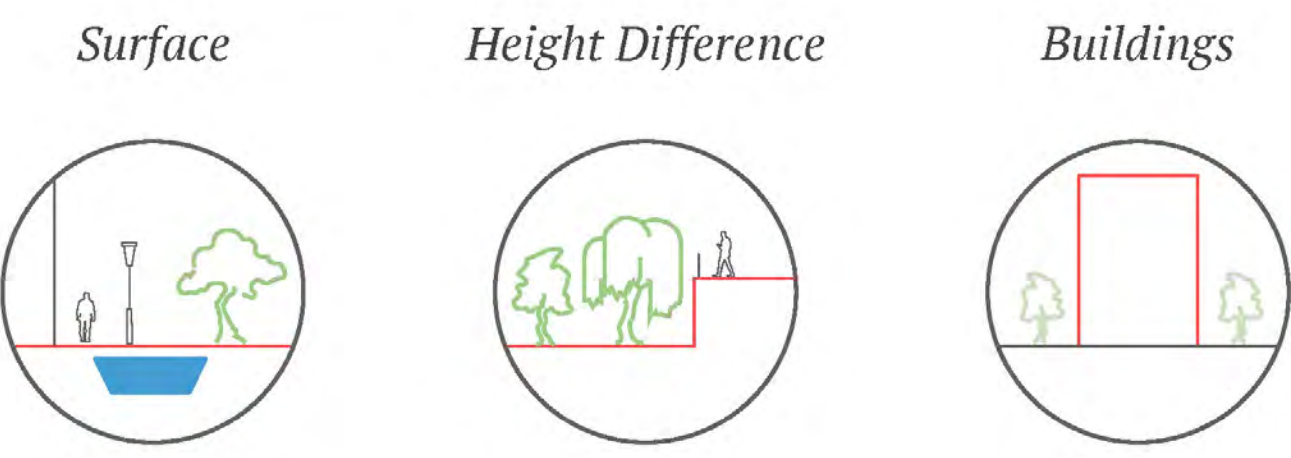
- Heavy traffic generates constant noise and air pollution.
- A lack of greenery leaves little space for biodiversity and human well-being.
- Much of the ground is sealed by asphalt and concrete, preventing natural water infiltration.



Barriers

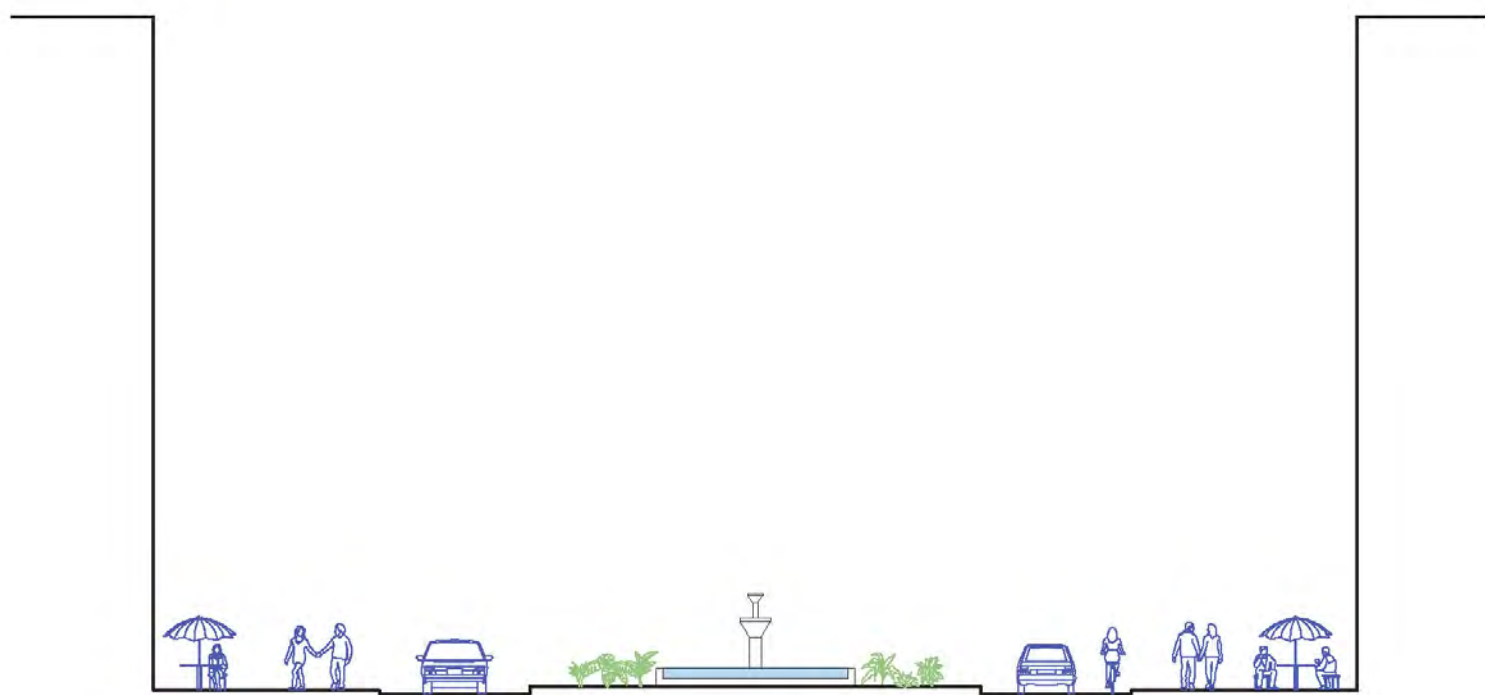
Physical barriers separate city and nature:

- the elevation difference between the park and its surroundings
- the underground confinement of the river
- dense building blocks that close off access to green spaces

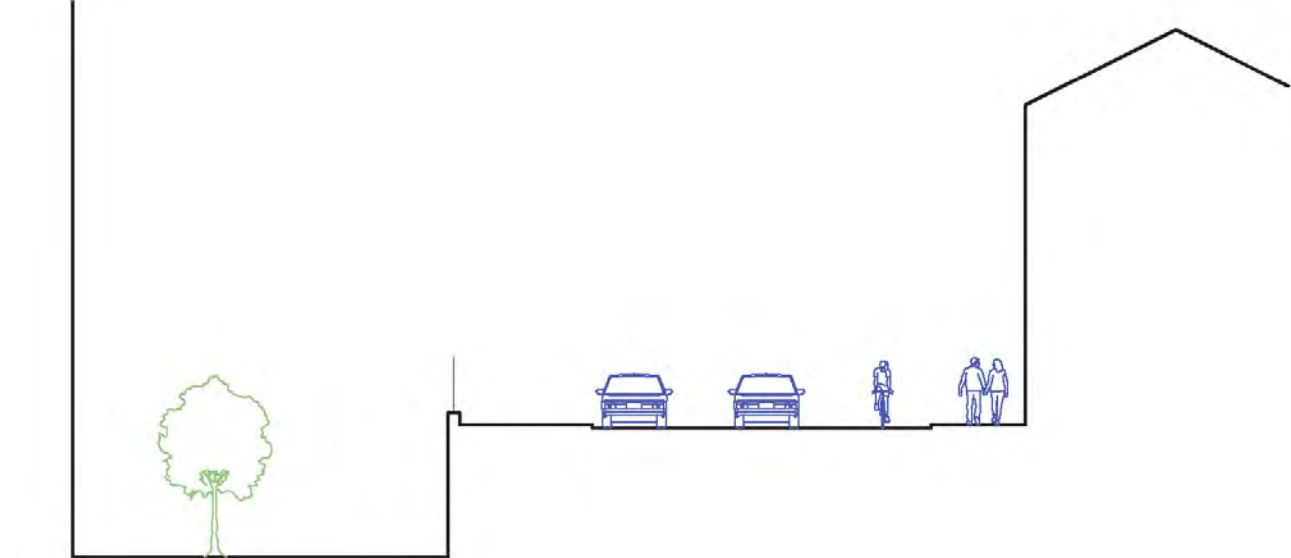


Analysed Points

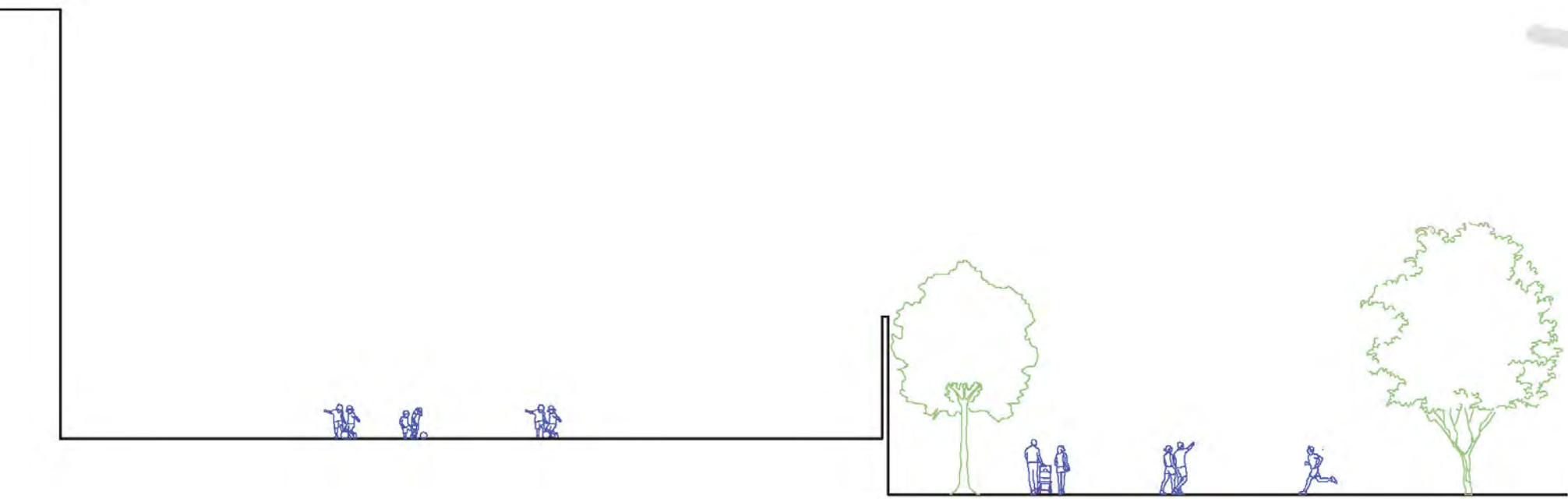
6 Toward the Fountain



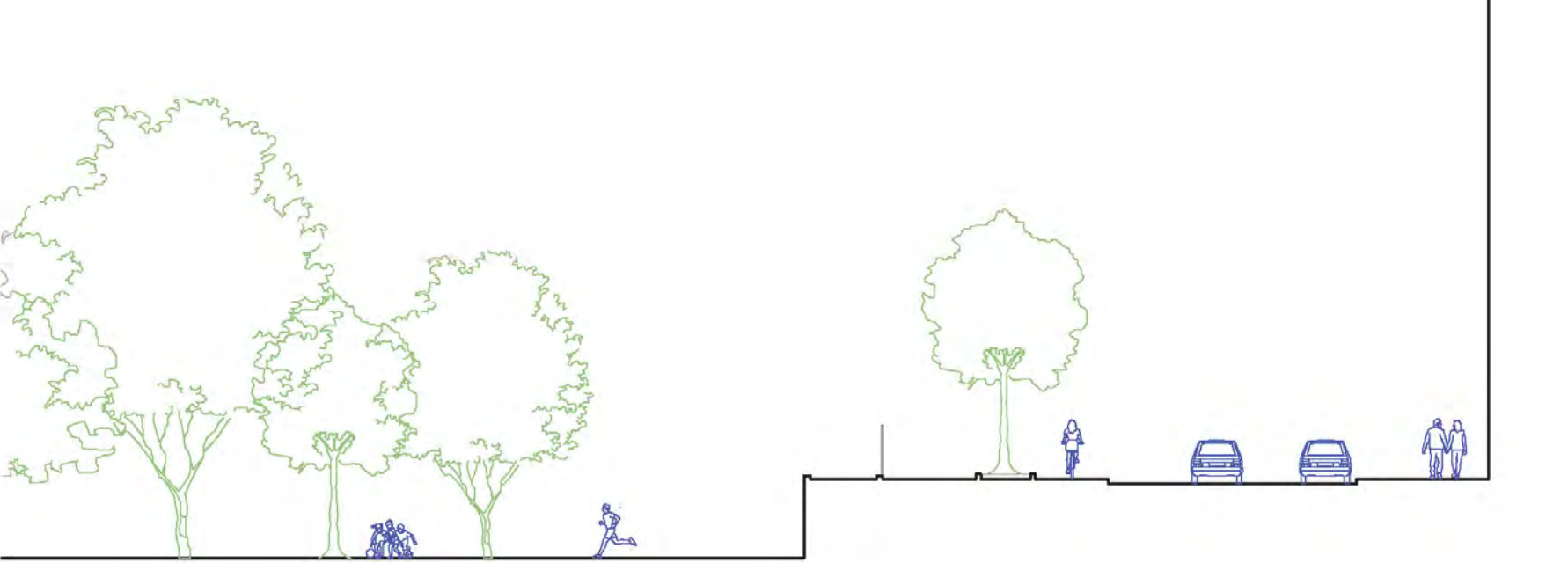
5 Green Cycling Path



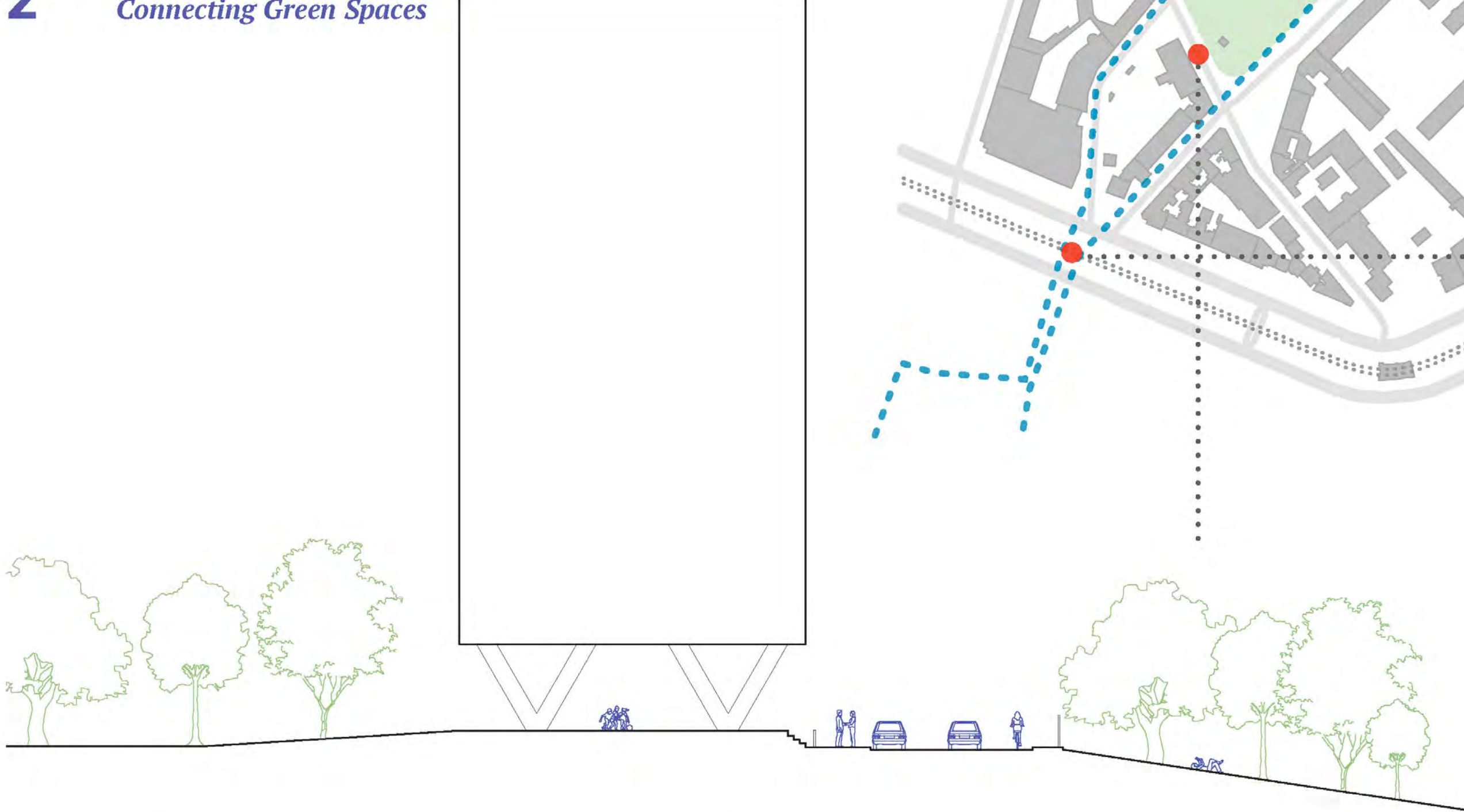
4 Nature Around the School



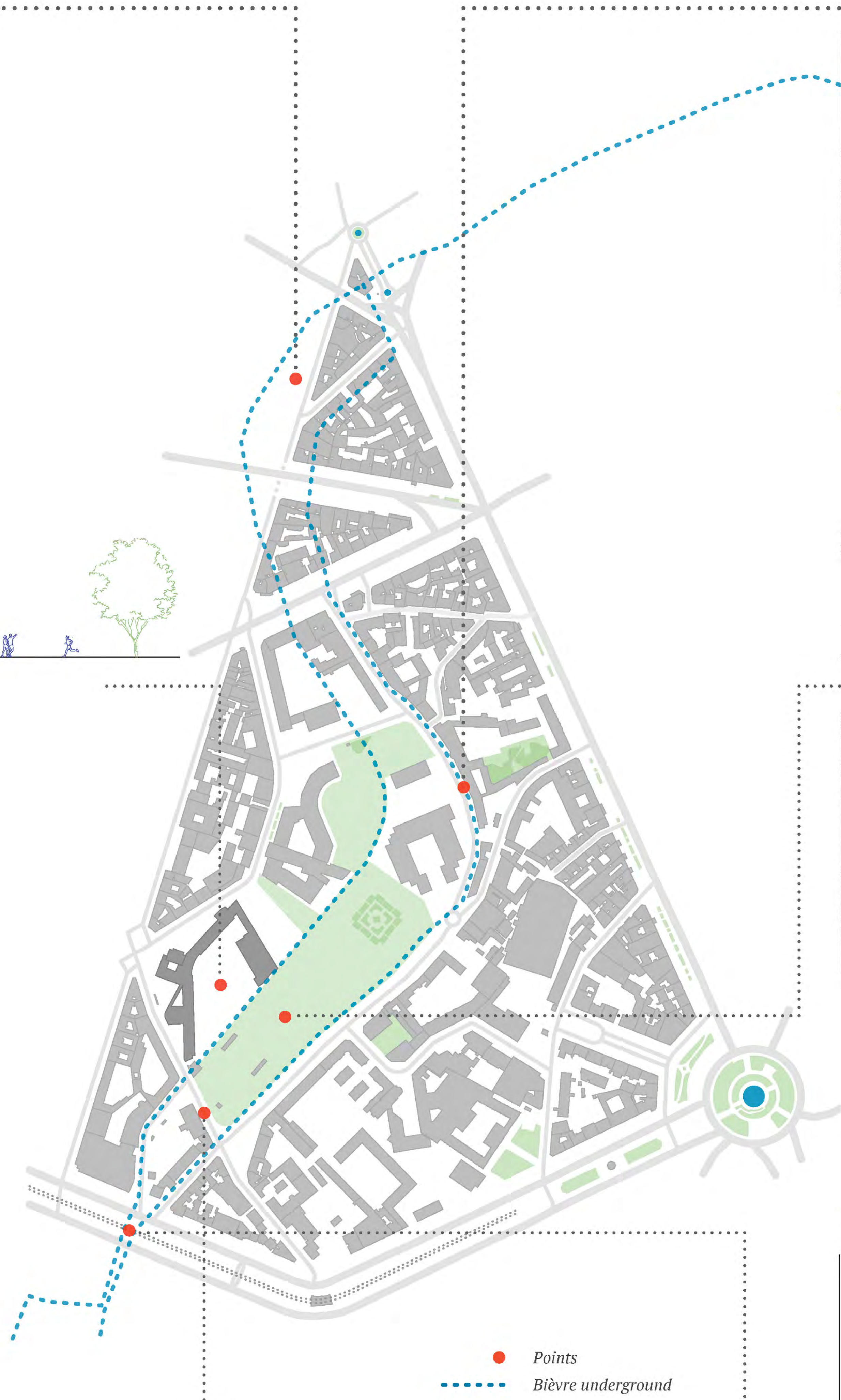
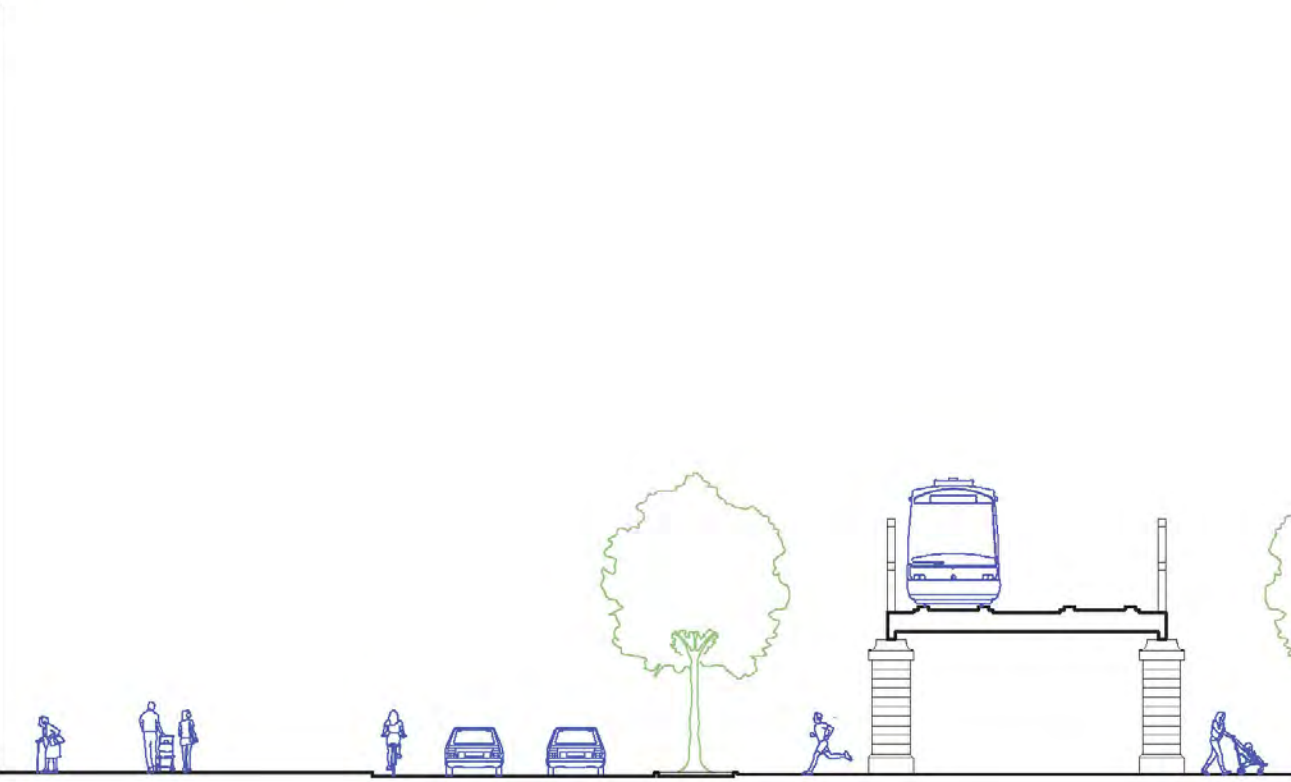
3 Opening the Park



2 Connecting Green Spaces



1 Under the Metro



Let the Bièvre Flow

France-Japan-China Workshop
taught by Yiliang Xiang, Ying Zheng, Hisashi Komatsu, Boris Wellachew

Project by Manal El Assad, Saki Watanabe, Elena Meister, Wanting Xia,
Romain Billard, Joaquín Góngora Rodríguez, Soic Kermarrec

Concept

Our vision is to eliminate barriers between nature and the city, allowing the Bièvre to once again become a living artery that brings water, greenery, and vitality into the urban landscape. The river becomes the thread that stitches together ecological, social, and urban life.

1 Greener Grounds for Growing Minds

Enhance and expand green spaces around schools to foster education, health, and a direct connection to nature.

2 Freeing the Bièvre

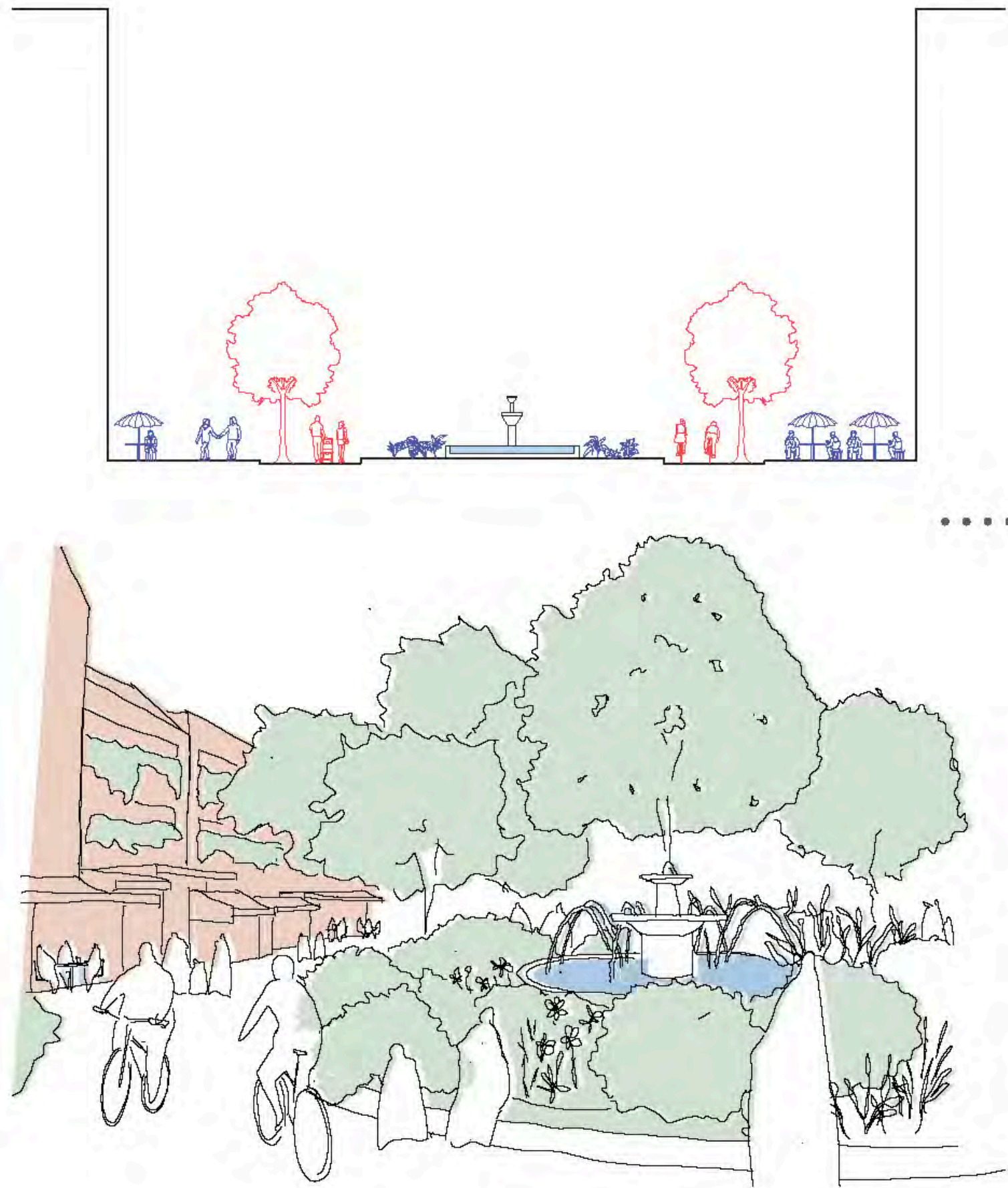
Unseal the river from its underground confinement and design open waterways that reintroduce water into the city.

3 Letting Nature flow

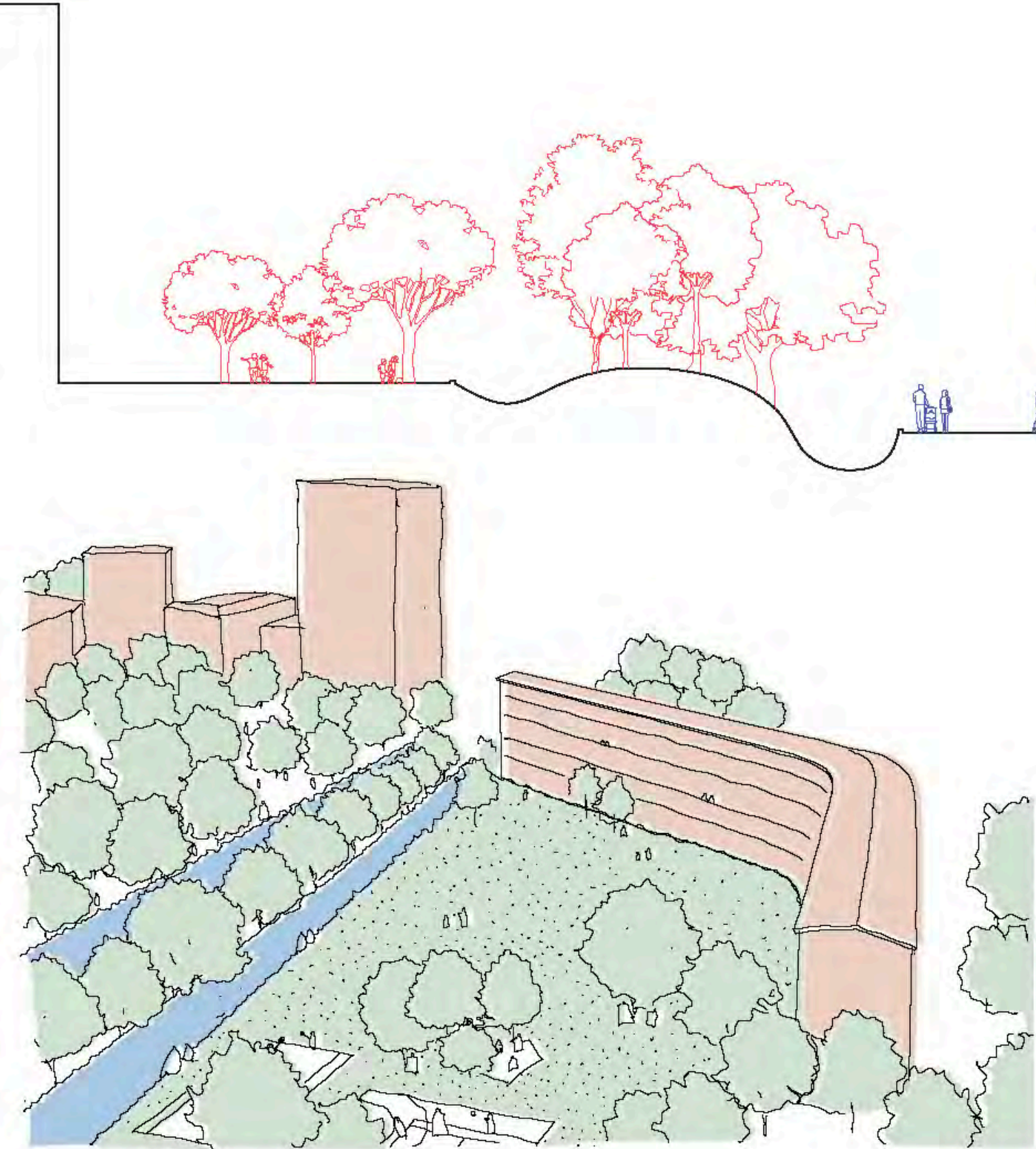
Create continuous corridors of greenery that weave through the urban fabric, softening the hard edges of the city and linking parks, streets, and the river.

Intervention Points

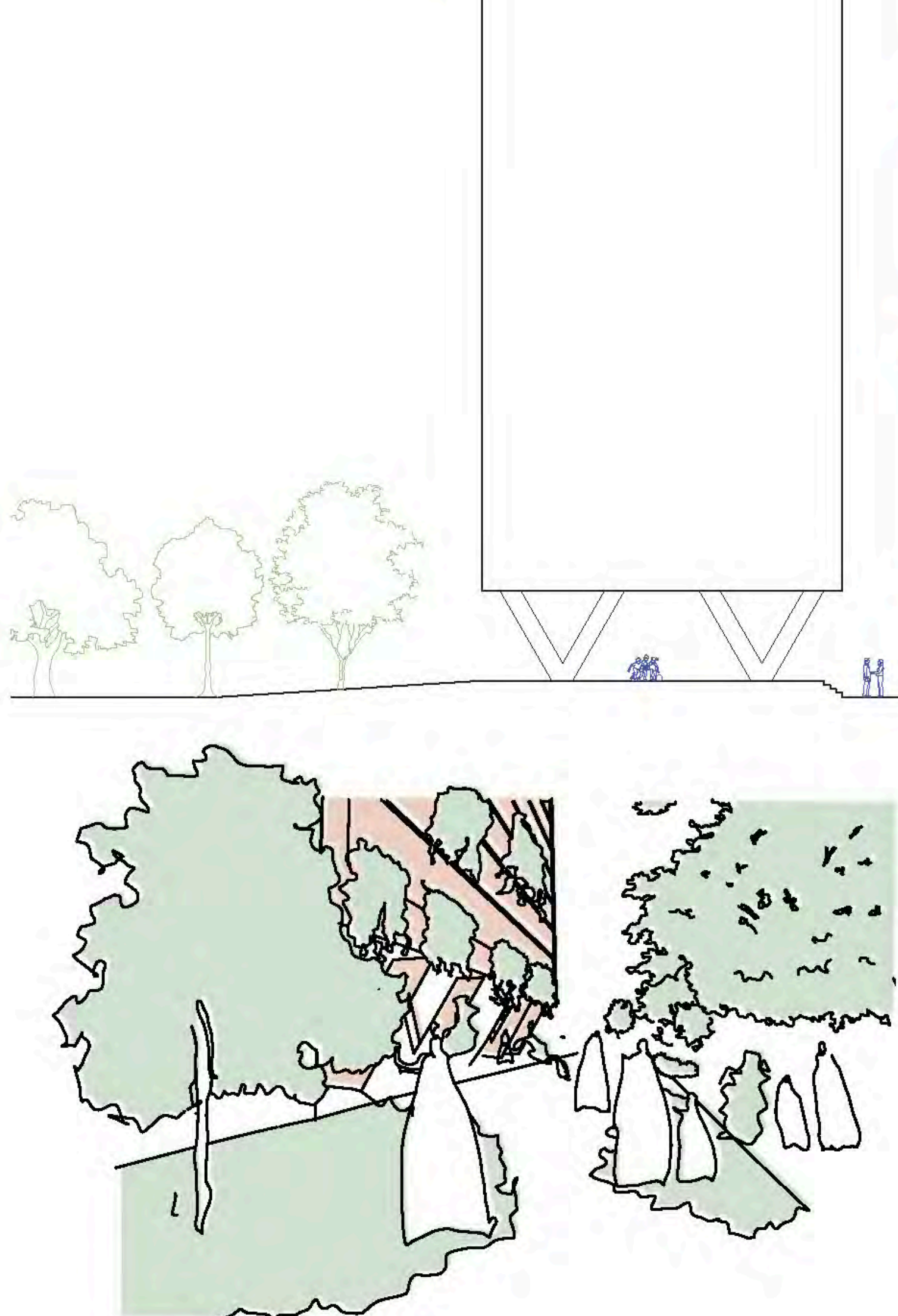
6 Toward the Fountain



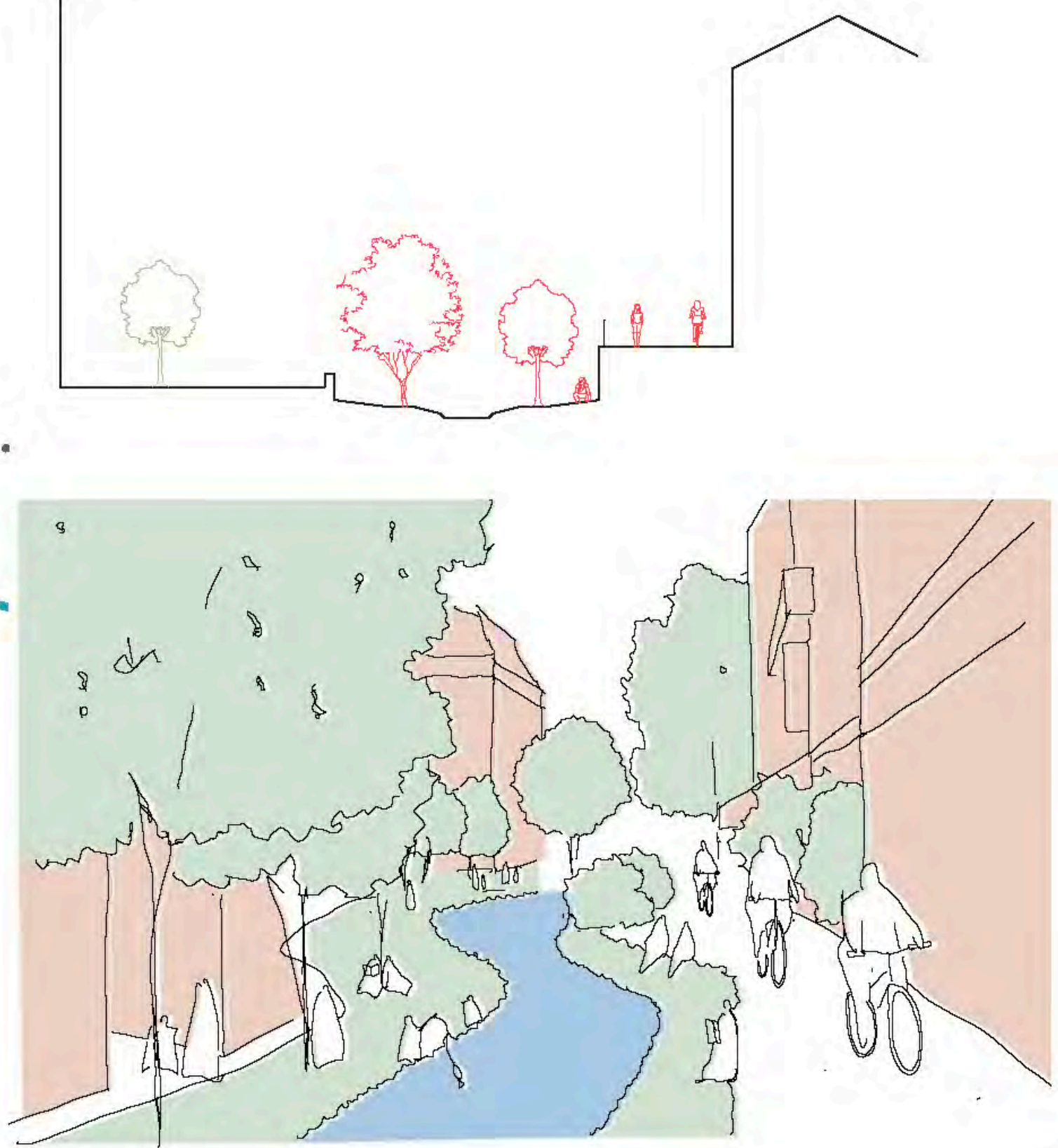
4 Nature Around the School



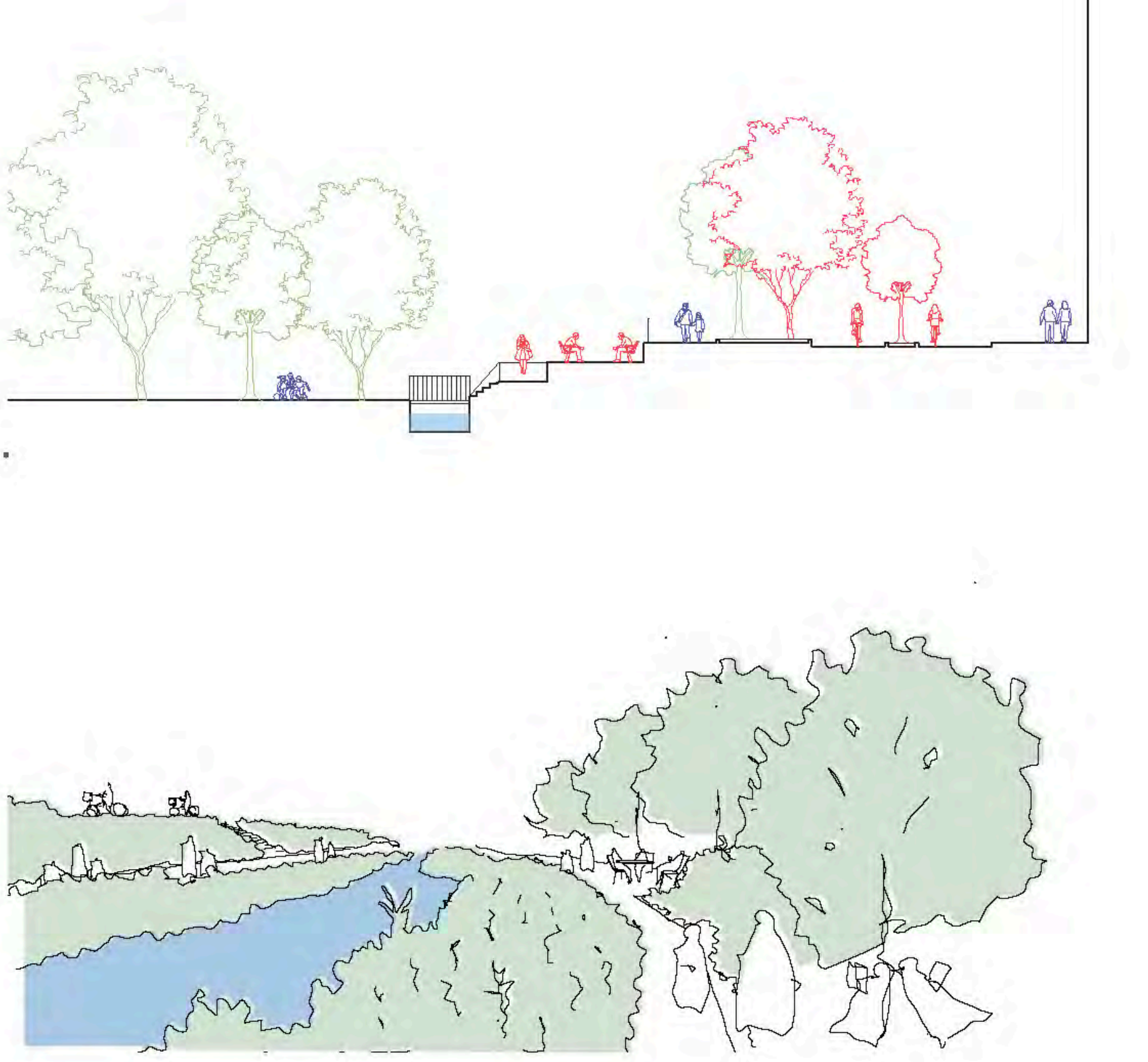
2 Connecting Green Spaces



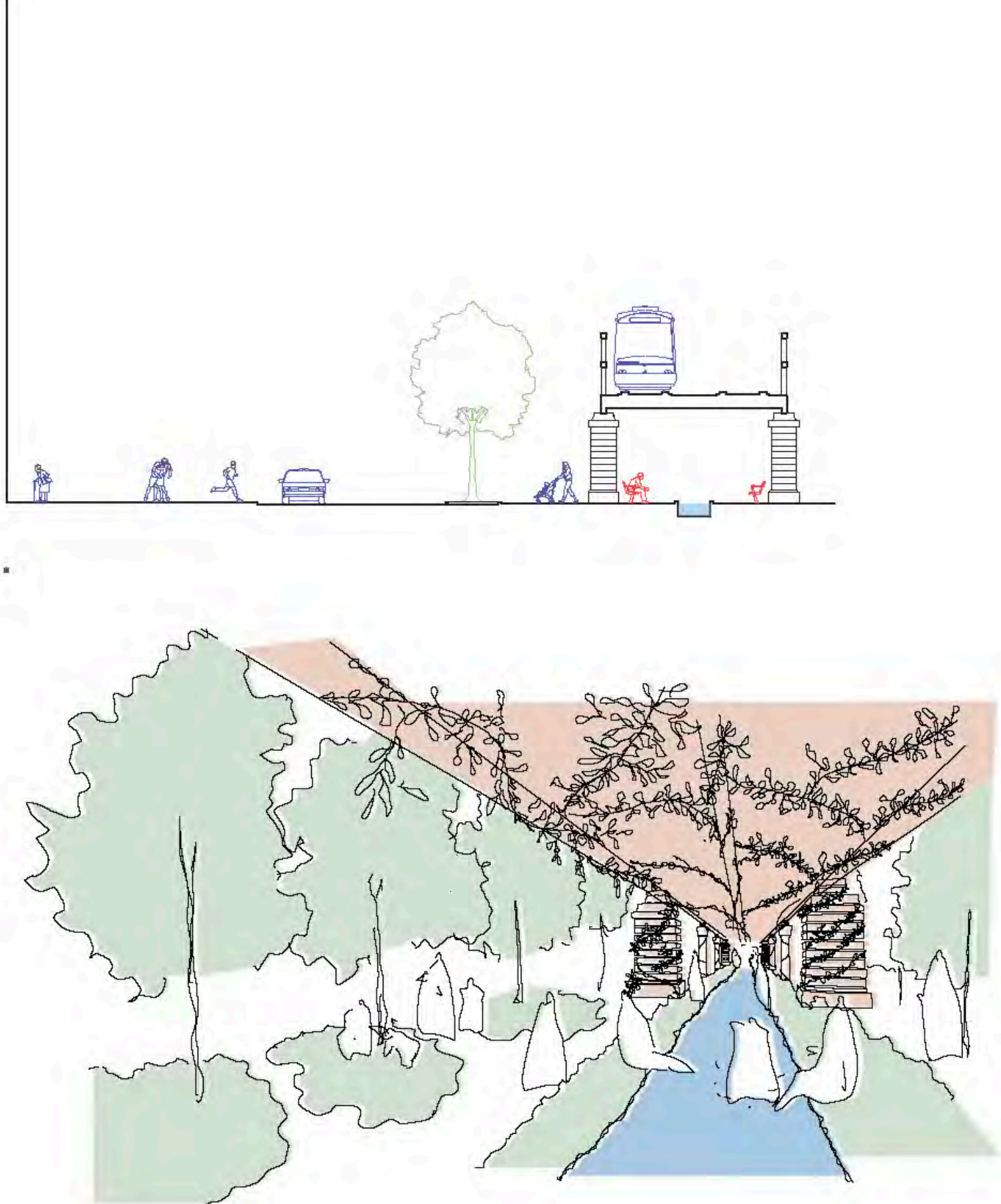
5 Green Cycling Path

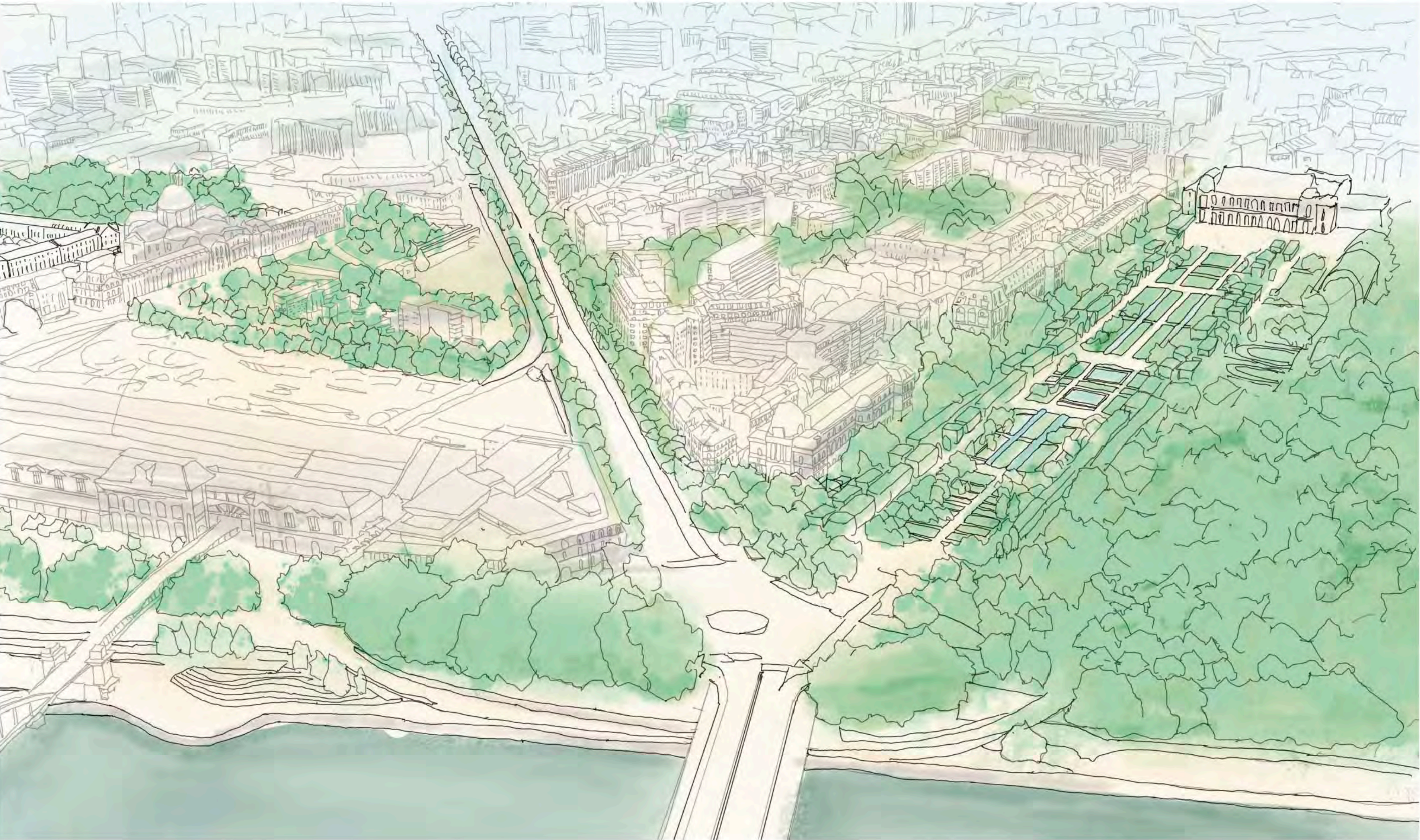


3 Opening the Park



1 Under the Metro





CONNECTER LES ESPACES VERTS

緑地をつなぐ
连接绿地

Beatriz Costo - ENSAPVS
Sota Yamamoto - Nagoya Univ.
Bilal El Razi Perte - ENSAPVS
Laura Gilina Adams - ENSAPVS
Salma Hamzoui - ENSAPVS
Abbas Badawi - ENSAPVS
Lui Zhimo - Tianjin Univ.
Pang Yua Pan - ENSAPVS

Connecting Nature, People, and Memory

The project proposes a continuous green path that reconnects fragmented landscapes, weaving together parks, open spaces, and the historic memory of the river. This connection is not only ecological—bringing back biodiversity and natural flows—but also social, offering a sequence of spaces where people can gather, walk, and enjoy the neighbourhood in a more sustainable way.

By reviving the memory of the river, the path invites people to rediscover their shared heritage, while creating an accessible and enjoyable route that strengthens the identity of the area. The result is a living corridor: a place where nature, community, and history converge, transforming everyday movement into an experience of connection and enjoyment.

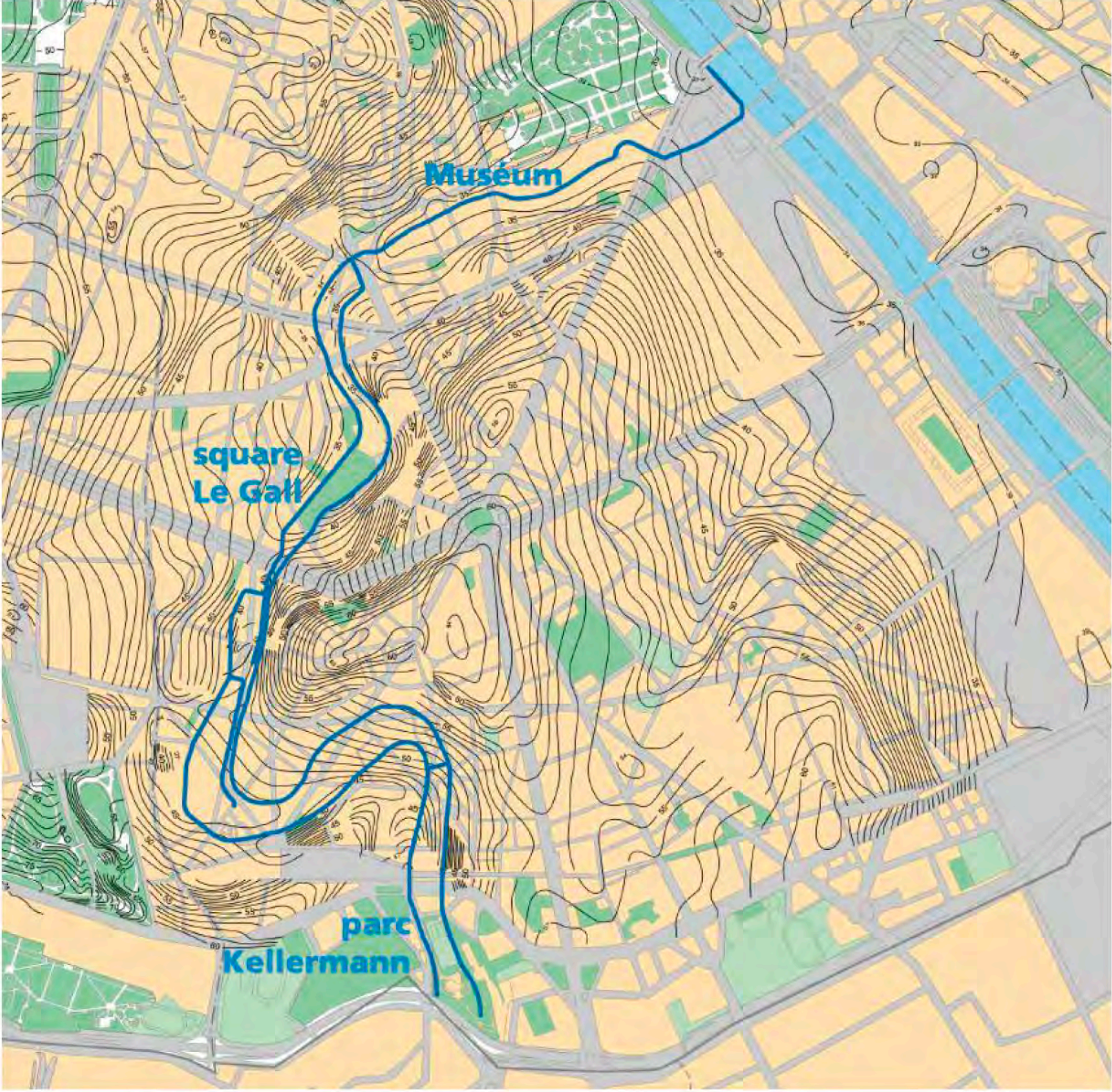
This project proposes a continuous path that links the neighbourhood's natural fragments, social life, and historical memory of the river. By weaving these elements together, the intervention creates a richer urban experience that is ecological, cultural, and human.

Nature: create a green corridor that links fragmented spaces and restores biodiversity.
People: provide an accessible and pleasant path for walking, meeting, and enjoying the neighborhood.
Memory: reactivate the presence of the river as a shared heritage and local identity.
Experience: transform everyday movement into a journey of connection and enjoyment.

CONTEXT



Carte de l'état-major (1820-66). Source: GeoPortail



Topography around the Bièvre River

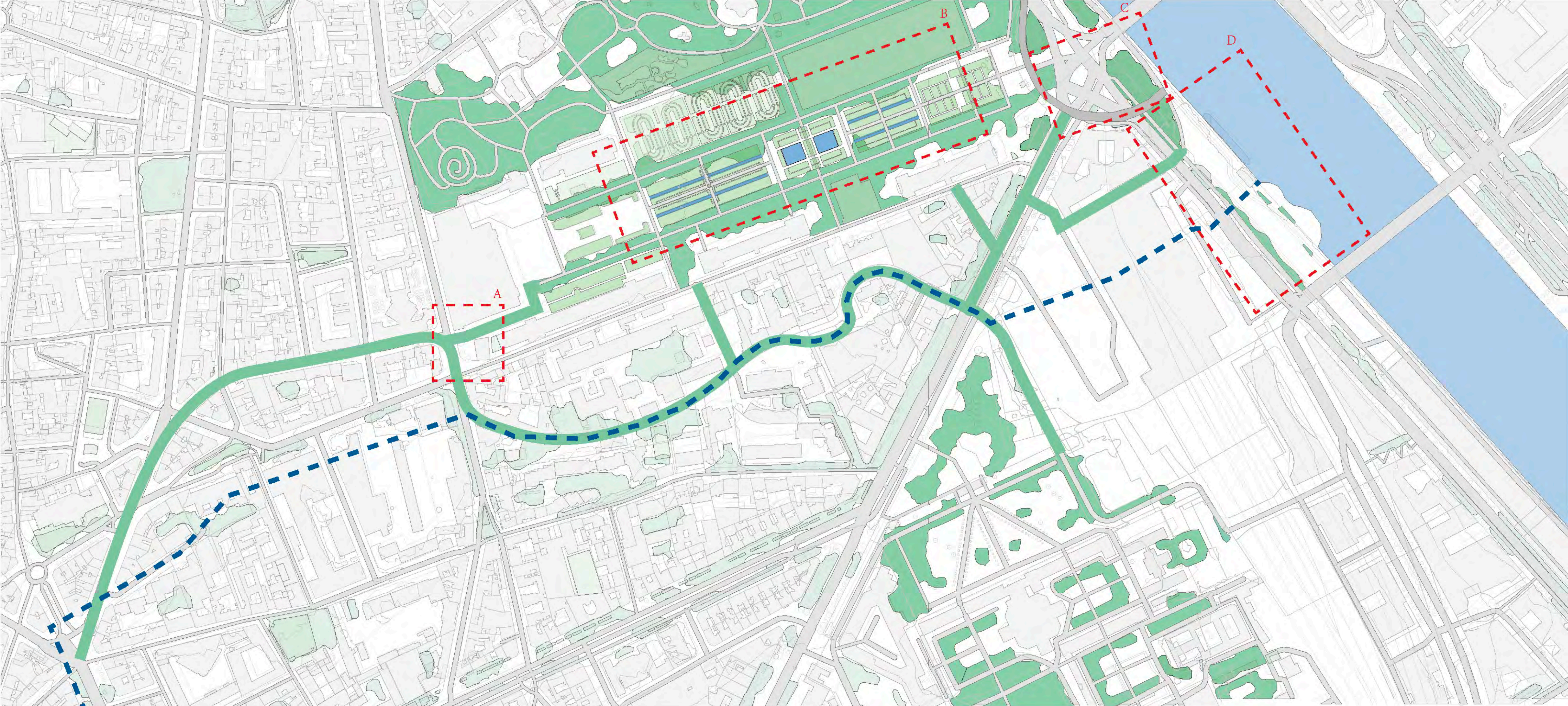


The study area is located in the southeast of Paris, along the former course of the Bièvre River. Although the river is now covered, its trace remains alive in the collective memory and in the urban fabric. Historical and topographic maps, such as the Carte de l'état-major (1820–1866)—the first complete topographic map of France, produced by the French army—show how the presence of water and the relief shaped the city's development, creating valleys, farmland, and green areas that gave identity to these neighborhoods.

Today, the area is characterized by a dense urban fabric, crossed by an extensive public transport network (RER, metro, and buses), which ensures accessibility and makes it a strategic point within the metropolis. However, the memory of the river has gradually faded, surviving only in small traces such as commemorative plaques on the pavement or references in the public space.

This analysis highlights the opportunity to revive the memory of the Bièvre and reconnect the existing fragments of nature in the area. The aim is not only to recover a lost landscape, but also to strengthen a historical and cultural link that can become a driver of urban and social transformation.

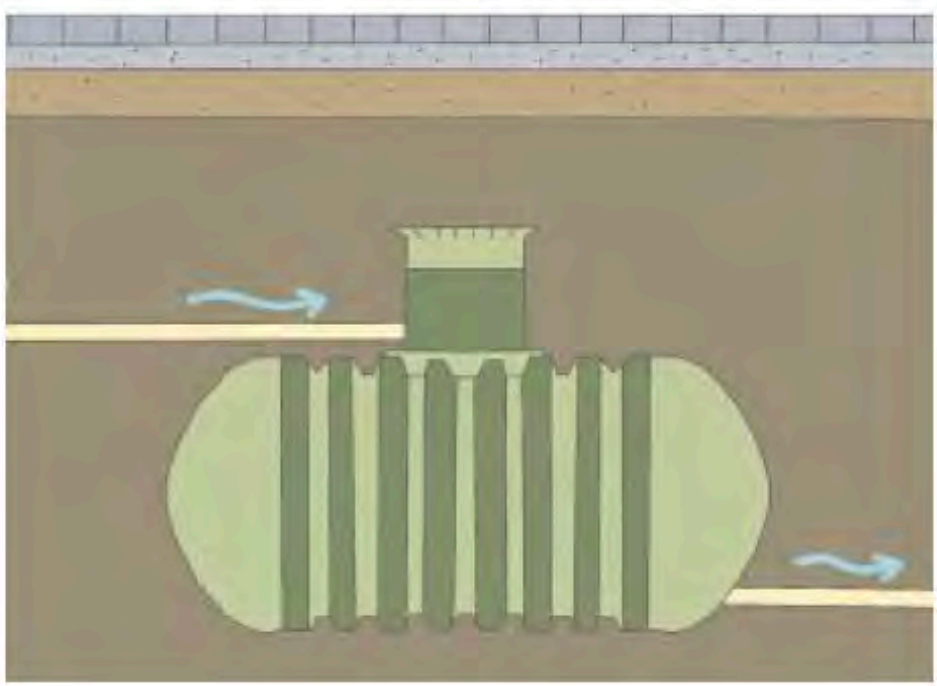
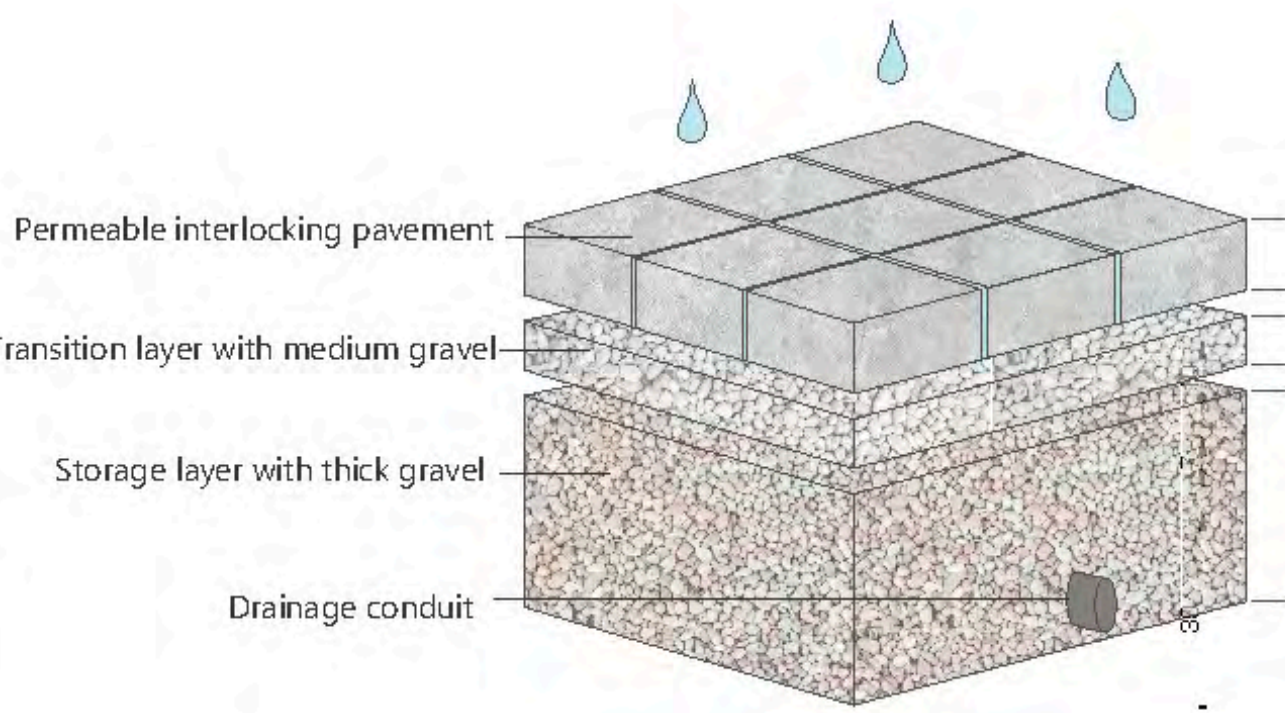
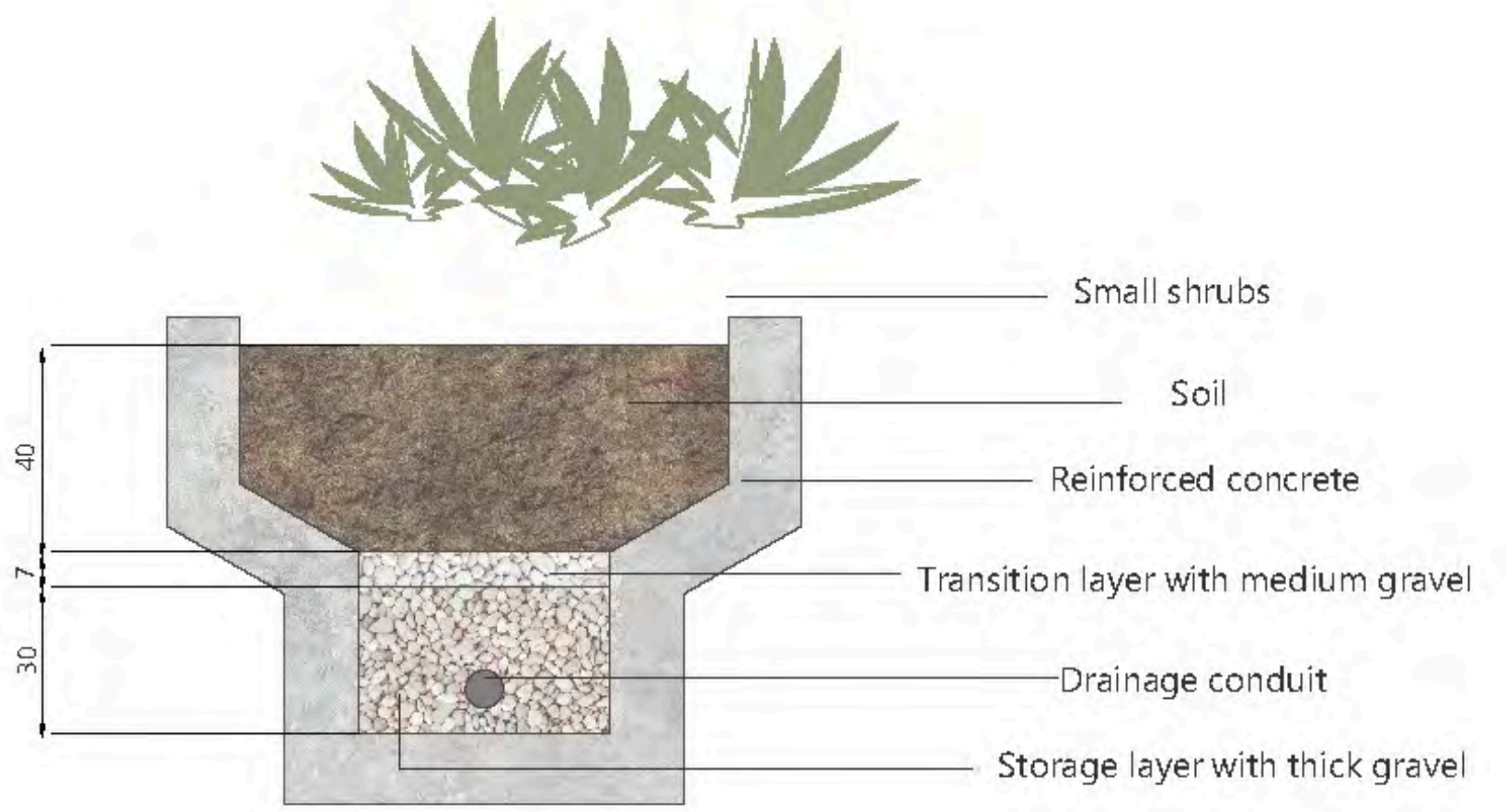
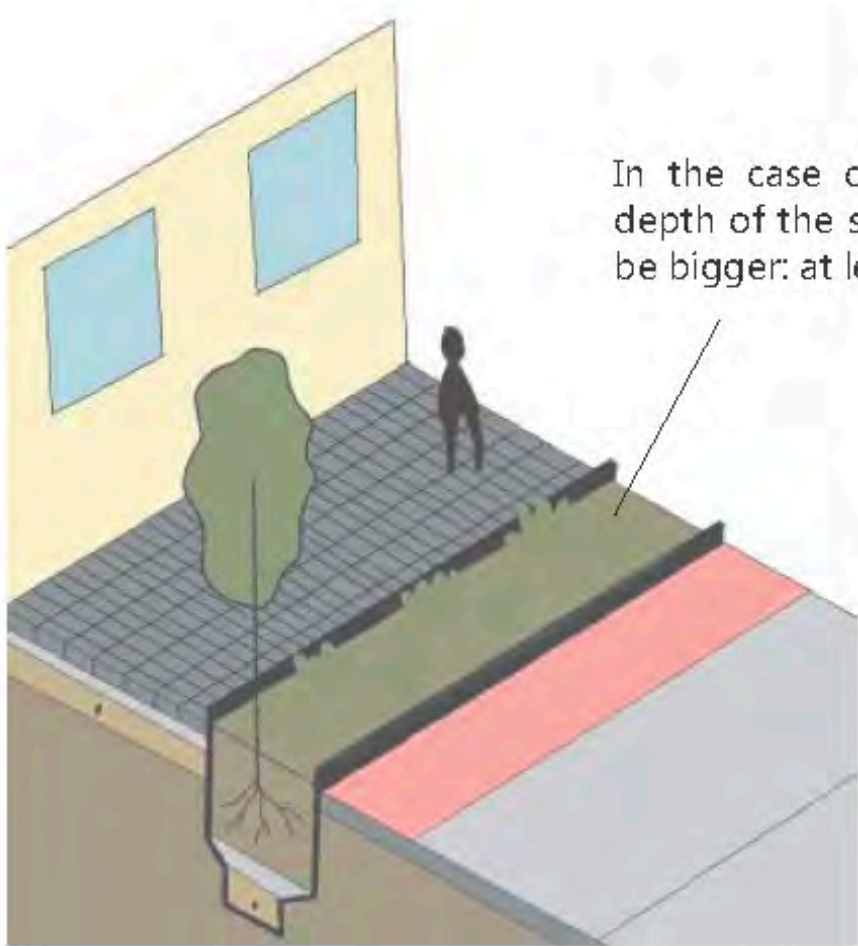
MASTERPLAN



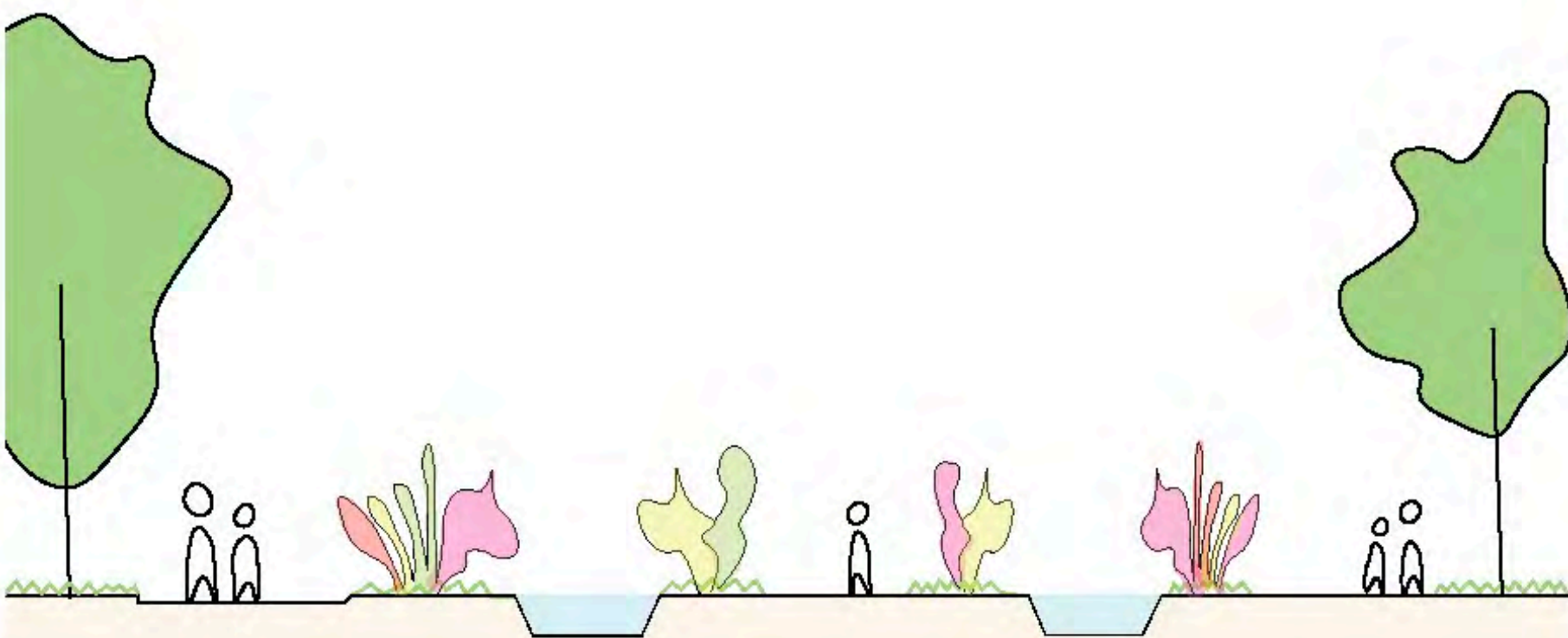
----- Buried River (Bièvre)
New greens connections

0 100m
S=1:2000

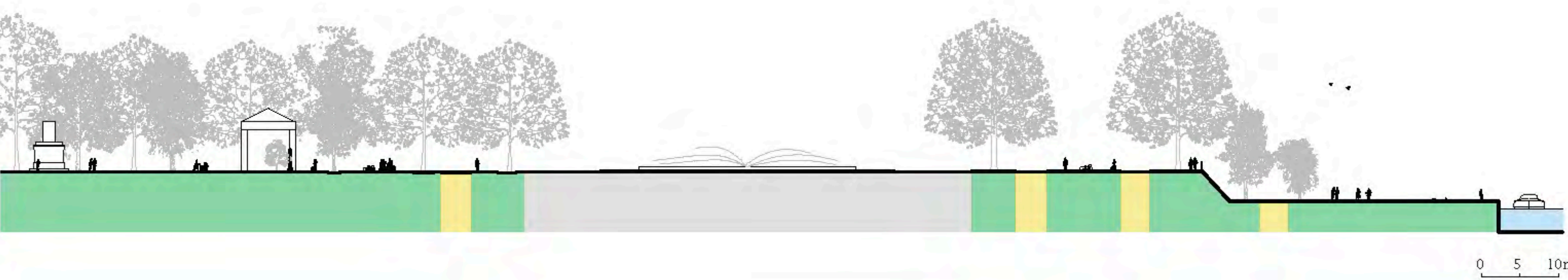
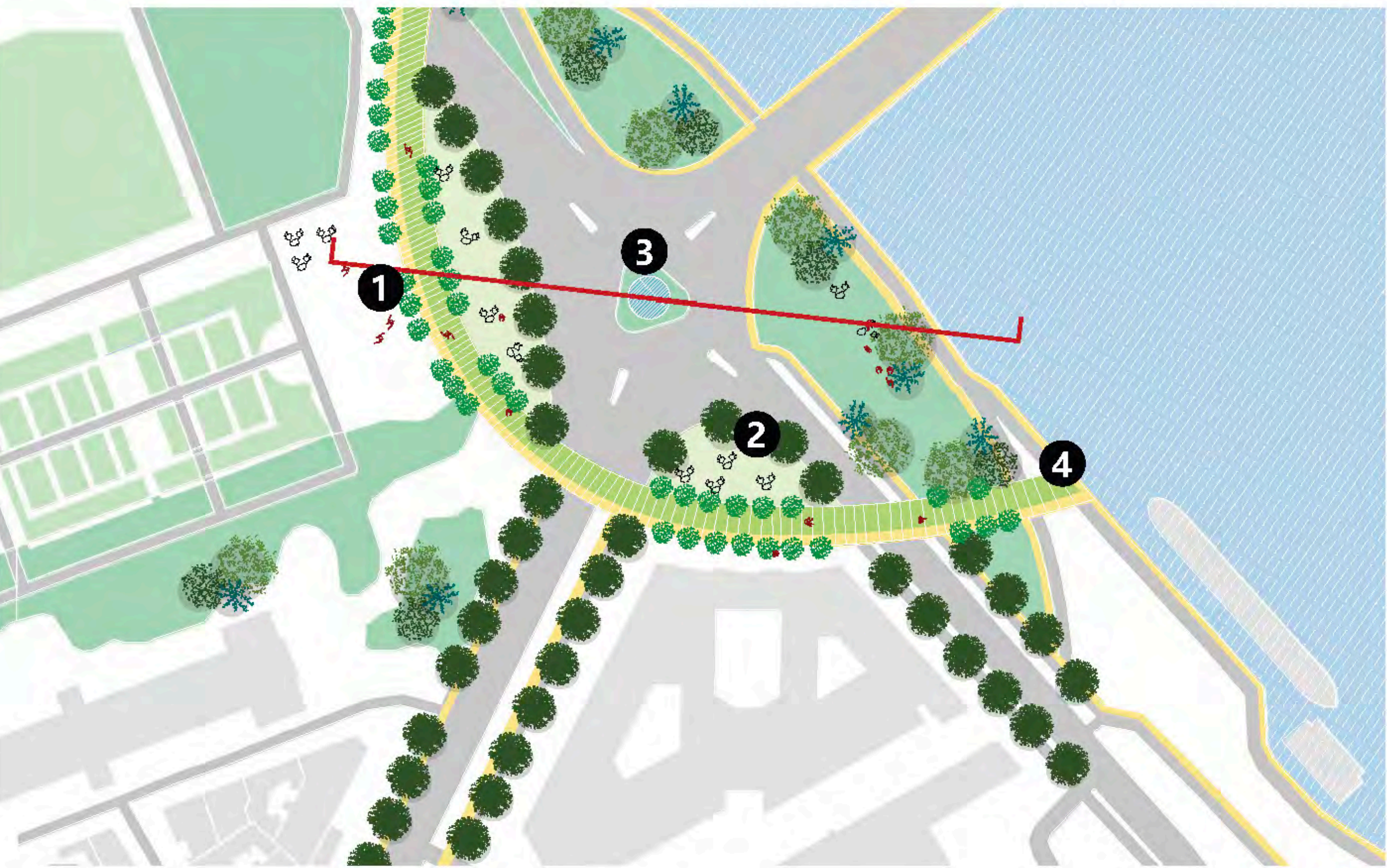
A - GREENING THE STREETS



B - JARDIN DES PLANTES



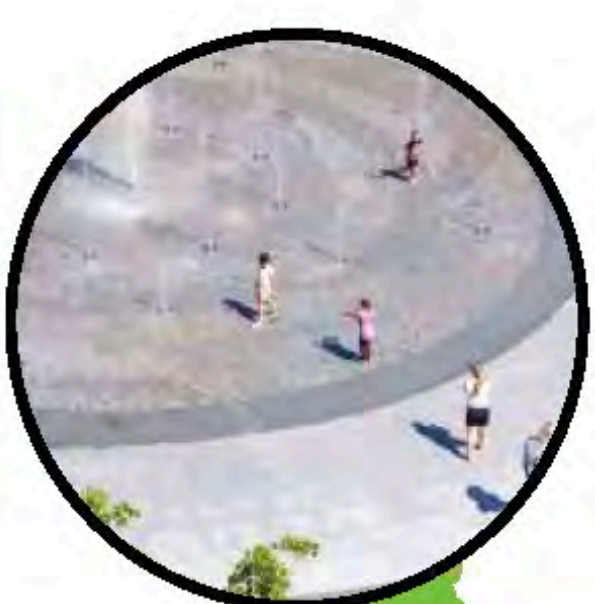
C - WALK TO LA SEINE



1 Opening Boundaries



2 More public spaces



3 River reborn



4 Lead to the riverside

D - RIVERSIDE

